

日本育種学会 第119回講演会プログラム
2011年春季 横浜市立大学

3月28日 (月)	午後	幹事会 15:00-18:00 (横浜市立大学木原生物学研究所)
--------------	----	----------------------------------

		第1会場 第I講堂	第2会場 本校舎301	第3会場 本校舎302	第4会場 本校舎303	第5会場 本校舎304	第6会場 本校舎306	第7会場 本校舎307
3月29日(火)	午前	ゲノム解析・ DNAマーカー 101-112 9:00-12:00	品質成分 201-210 9:00-12:00 ゲノム解析 211-212 11:30-12:00	品種育成・ 育成法 301-312 9:00-12:00	変異創成 401-412 9:00-12:00	抵抗性・耐性 501-513 9:00-12:15	発生 601-612 9:00-12:00	遺伝資源 701-710 9:00-11:30 育種情報 711-712 11:30-12:00
	午後	総会・学会賞授賞式 13:30-14:15 (シーガルホール)						
		学会賞受賞講演 14:30-17:20 (シーガルホール) 学会賞 14:30 ◎アブラナ類の小胞子胚形成の遺伝育種学的研究 高畑義人(岩手大学農学部) ◎コムギ澱粉変異体の作出とその育種利用に関する研究 中村俊樹(農研機構東北農業研究センター・めん用コムギ研究東北サブチーム) ◎日本各地に適した稲発酵粗飼料および飼料用米向け水稻品種シリーズの開発 「農研機構・飼料用水稻品種の研究開発グループ」(代表者:加藤浩) 16:00 奨励賞 16:20 ◎イネにおける葉の分化パターンの分子遺伝学的研究 伊藤純一(東京大学大学院農学生命科学研究科) ◎葉老化に関する分子遺伝学的研究 佐藤豊(独立行政法人農業生物資源研究所・ゲノムリソースセンター) ◎イネの根系形成機構の解明と育種への応用 犬飼義明(名古屋大学大学院生命農学研究科植物遺伝育種学研究分野) 17:20						
		懇親会 18:00-20:00 (シーガルセンター)						

3月30日(水)	午前	ポスター奇数番号 9:00-10:30 (総合体育館)						
		ポスター偶数番号 10:30-12:00 (総合体育館)						
	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場		
	第I講堂	本校舎301	本校舎302	本校舎303	本校舎304	本校舎306		
	ゲノム解析・DNAマーカー 13:00-16:00 113-124	ゲノム解析・DNAマーカー 13:00-16:00 213-224	品種育成・育成法 313-320 13:00-15:00	変異創成 413-424 13:00-16:00	増殖・生殖 514-526 13:00-16:15	発生 613-622 13:00-15:30		
			収量・バイオマス 321-325 15:00-16:15					
グループ研究集会 16:00-18:15 (本校舎301、303、306、307)								

1日目(3月29日)午前 口頭発表プログラム				
3月29日	第1会場(第1講堂)	第2会場(本校舎301)	第3会場(本校舎302)	第4会場(本校舎303)
	◆座長 佐藤豊(生物研)	◆座長 高田兼則(近中四農研)	◆座長 田口文緒(生物研)	◆座長 佐々英徳(千葉大)
9:00	101 イネ無根毛変異体 $rth1$ の原因遺伝子の単離 ☆湯尾崇央1・豊田正範2・一井眞比古3・武田真1(1. 岡山大学資源植物科学研2. 香川大学農3. 香川大学)	201 新規ソヤサバゲノムを有する変異ツルマメ(<i>Glycine soja</i>)種子のサポニン組成 ○今健亘1・本多のぞみ1・大木洋平1・高田吉丈2・加藤信3・菊池彰夫3・石本政男4・村岡宏樹5・小川智5・喜多村啓介6・塚本知玄1(1. 岩手大院農2. 近中四農研3. 東北農研4. 農業生物資源研5. 岩手大院工6. 北大院農)	301 根粒超着生品種作系4号の後代系統における根粒着生とCd吸収 ○星野次汪1・佐川了1・金田吉弘2・佐藤孝2・高階史章2・阿部岳1・高橋幹3(1. 岩手大学農学部2. 秋田県立大学3. 九州沖縄農業研究センター)	401 タバコ種間雑種における雑種致死の原因となるQ染色体に相当する連鎖群の同定 ☆松尾千廣1・丸橋亘2・小田雅行3・手塚孝弘3(1. 大阪府大生命環境2. 明治大農3. 大阪府大院生命環境)
9:15	102 アケノホシとコシヒカリの組み換え自殖系統群を用いた登熟期の葉の老化と吸水能力に関するQTL解析 ○山本敏央1・鈴木健司2・高井俊之1・大川泰一郎2・岡崎正規2・平沢正2・矢野昌裕1(1. 農業生物資源研2. 東京農工大院農学府)	202 大豆種子葉のサポニン組成 ○塚本知玄1・高田吉丈2・大木洋平1・今健亘1・加藤信3・菊池彰夫3・石本政男4・喜多村啓介5(1. 岩手大院農2. 近中四農研3. 東北農研4. 農業生物資源研5. 北大院農)	302 多収で高温登熟条件下での外観品質が優れるあずき新品種「きたあずか」の育成 ○田澤暁子1・佐藤仁1・島田尚典2・青山聡3・藤田正平4・村田吉平1(1. 道総研十勝農試2. 道総研北見農試3. 道総研上川農試4. 道総研中央農試)	402 Q染色体特異的SSRマーカーを用いたタバコ種間雑種(<i>Nicotiana tabacum</i> × <i>N. glauca</i>)における雑種致死原因染色体の特定 松尾千廣1・飯塚貴大2・丸橋亘3・小田雅行2・☆手塚孝弘2(1. 大阪府大生命環境2. 大阪府大院生命環境3. 明治大農)
9:30	103 水稻開花期耐冷性に関するQTLの同定 ○品田博史1・岩田夏子2・佐藤毅1・藤野賢治3(1. 上川農試2. ホクレン農総研3. 北農研センター)	203 糖を多く含有するイネ品種育成の試み(1) ☆関井拓真・内田晋作・笹沼恒男・阿部利徳(山形大農学)	303 東北地域向け高ビタミンE大豆系統の開発 ○河野雄飛・加藤信・菊池彰夫(東北農研)	403 <i>Nicotiana debneyi</i> は <i>N. tabacum</i> との交雑における雑種致死の原因となる単一の優性遺伝子をもつ ☆飯塚貴大1・久保山勉2・丸橋亘3・小田雅行1・手塚孝弘1(1. 大阪府大院生命環境2. 茨大農3. 明治大農)
9:45	104 多収イネ、ハバタキの穂構造を制御する発現QTL(eQTL)の検出 ☆安益公一郎1・永松志郎1・池田真由子1・高師知紀2・北野英己1・松岡信1(1. 名古屋大学 生物機能開発利用研究センター2. ホンダリサーチ・インスティテュート・ジャパン)	204 イネ種子中総リシン濃度が3倍になったBIP過剰蓄積体の開発 ○川勝泰二・ワンスーイー・若佐雄也・高岩文雄(生物研)	304 東北地域向け有色大豆系統の開発 ☆加藤信1・河野雄飛1・清水恒1・湯本節三1・高田吉丈2・菊池彰夫1(1. 東北農業研究センター2. 近畿中国四国農業研究センター)	404 <i>Allium roylei</i> 由来単一異種染色体を添加した <i>Allium cepa</i> 系統シリーズの完成 H. Vu1・中島徹也2・吉松康之2・岩田真知子2・山内直樹2・☆執行正義2(1. 鳥取大連合農学2. 山口大農学)
10:00	◆座長 武田真(岡山大)	◆座長 氷見英子(岡山大)	◆座長 矢野健太郎(明治大)	◆座長 鎌賀啓明(生物研)
10:00	105 ダイズコアコレクションの開発 ☆加賀秋人1・清水武彦2・渡辺啓史1・坪倉康隆1・片寄裕一・原田久也1・D. Vaughan1・友岡憲彦1(1. 生物研2. STAFF研究所)	205 リポキシゲナーゼ-1欠失(LOXレス)ビール大麦品種「CDC PolarStar」の醸造特性評価 ○保木健宏1・斉藤渉1・廣田直彦1・高岡友和2・齋藤哲哉2・神田一3・山浦信明3・木原誠1・ロスネゲルブライアン4・武田和義5・山田眞司1(1. サッポロビール(株)バイオ研2. サッポロビール(株)生産技本3. サッポロビール(株)価値創造フロンティア研4. カナダサスカチュワン大学 CDC5. 岡山大資源植物科学研)	305 赤かび病抵抗性QTLを戻し交配により導入した春播きコムギ系統の開発 ○吉村康弘1・鈴木孝子2・足利奈奈1・来嶋正朋1・神野裕信1・小林聡1・西村努2(1. 道総研北見農試2. 道総研中央農試)	405 γ-グルタミルシステイン合成酵素遺伝子(GSH1)を葉緑体ゲノムに持つタバコ形質転換体の作出 須頭知世1・○植村香織2・西塚順子1・寺地徹2(1. 京産大工2. 京産大総合生命科学)
10:15	106 ダイズの分枝数を制御するQTL群の効果の確認 ☆佐山貴司1・小松邦彦2・山口直矢3・船附秀行4・笹間博子1・鈴木千賀3・三好智明3・田中義則3・石本政男1(1. 生物研2. 北農研3. 道総研十勝農試4. 近中四農研)	206 コムギ品種ミナミカオリがもつ <i>Gli-D1</i> 対立遺伝子の製パン性への効果 ○高田兼則・池田達哉・谷中貴貴子・石川直幸(近中四農研)	306 分子マーカー技術とF ₁ ハイブリッド育種の組み合わせによる超多収・良食味イネの育成 ☆地主建志1・森中洋一1・高師知紀1・香村敏郎2・松岡信2・北野英己2(1. (株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン2. 名古屋大学生物機能開発利用研セ)	406 異なる活性酸素消去系酵素の遺伝子を葉緑体ゲノムに持つ組換えタバコの比較 ☆山本裕範1・辻村朋彦2・林清音1・森田重人3・寺地徹4(1. 京産大院工2. 京産大工3. 京府大院生命環境4. 京産大総合生命科学)
10:30	107 ダイズ品種「トヨハルカ」に由来する耐倒伏性QTLの収量への影響 ☆山口直矢1・船附秀行2・小松邦彦3・佐山貴司4・山崎敬之5・石本政男4・三好智明1(1. 道総研十勝農試2. 近中四農研3. 北農研4. 生物研5. 道総研北見農試)	207 極低アミロースコムギを選抜できるDNAマーカーの開発 ☆齊藤美香1・乙部千雅子2・小林史典1・中村俊樹1(1. 農研機構・東北農業研究センター2. 農研機構・作物研究所)	307 飼料用トウモロコシにおける多業性関連遺伝子 <i>tb1</i> の導入及びその効果 ○大石英樹・才宏偉・猿渡好彦((社)日本草地畜産種子協会 飼料作物研究所)	407 ペンサミアタバコの葉緑体ゲノムへのapx及びgsh1遺伝子の導入 ☆辻村朋彦1・植村香織2・山本裕範3・寺地徹2(1. 京産大工2. 京産大総合生命科学3. 京産大院工)
10:45	108 4倍体マメ科牧草シロクロローバの連鎖地図作成と他マメ科植物との比較 ☆磯部祥子1・久野裕1.2・奥村健治3・佐藤修正1・白澤健太1・平川英樹1・田畑哲之1(1. かずさDNA研2. ノーブル財団3. 北農研)	208 日本ダイコンに見出された新たなグルコシノレート組成 ○石田正彦1・小堀純奈1.2・畠山勝徳1・小原隆由1・柿崎智博1・吉秋斉1.3・森光康次郎4(1. 野菜茶業研2. 現:三重県農業研3. 石川県農業総合研4. お茶の水女子大生体科学部)	308 イネ育種におけるゲノミックセレクションの精度:シミュレーションと実データによる評価 ○岩田洋佳1・井下侑人1・江花薫子2・山崎将紀3・出田収4・田口(塩原)文緒2・林武司5(1. 東大農学生命科学2. 農業生物資源研3. 神戸大院農4. 近畿中国四国農業研究センター5. 中央農研)	408 <i>Moricandia arvensis</i> 細胞質をもつ異質細胞質 <i>Brassica rapa</i> の育成とその特性 ☆筒井康太1・鄭凡喜2・伊藤由起子1・房相佑1・金子幸雄1(1. 宇都宮大農2. 農研機構中央農研)

1 日目 (3月29日) 午前 口頭発表プログラム

第5会場 (本校舎304)	第6会場 (本校舎306)	第7会場 (本校舎307)	3月29日
◆座長 杉田 (小西) 左江子 (香川大) 501 イネいもち病抵抗性QTL, qBR4-2 は3個の遺伝子座で構成される ○福岡修一・坂紀邦2・S. Ivan3・満瀬律子1・松本隆1・奥野員敏4・矢野昌裕1(1. 生物研2. 愛知農総試3. ロシア国立イネ研4. 筑波大) 502 イネ第4染色体に座乗するイネ白葉枯病抵抗性遺伝子 <i>Xa1</i> および <i>Xa2</i> の抵抗性の発現 ○田浦悟1・高須有希子2・一谷勝之2・河邊弘太郎1・佐藤宗治2(1. 鹿児島大学遺伝子実験施設2. 鹿児島大学農学部) 503 複合病害抵抗性遺伝子 <i>BSR1</i> によるイネいもち病菌抵抗性機構の解析 ☆前田哲・菅野正治・高辻博志・森昌樹(農業生物資源研) 504 ソルガム紫斑点病の耐性遺伝子(<i>ds1</i>)の単離 ○川東広幸1・春日重光2・安藤露3・金森裕之3・呉健忠1・米丸淳一1・佐塚隆志4・松本隆1(1. 農業生物資源研2. 信州大学農学部3. STAFF研4. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター)	◆座長 齊藤大樹 (京都大) 601 イネ実生におけるアルコール脱水素酵素活性の低下による嫌気代謝経路への影響 ☆高橋宏和1・雑賀啓明2・松村英生3・長村吉見2・西澤直子1・堤伸浩1・中国幹生1,5(1. 東大院農学生命科学2. 農業生物資源研究所3. 信州大ヒト環境科学研究支援センター4. 石川県立大生物資源工学研究所5. 名大院生命農学) 602 イネ種子に多面的表現型を示す <i>twin eyes</i> 変異体の発生学的解析 ○大森良弘1・大津和弘1・坂紀邦2・北野英己3・平野博之1(1. 東大・院理2. 愛知農総試3. 名大生物機能開発利用研究センター) 603 イネ小穂の発生が異常となった <i>tongariboushi (tob)</i> 変異体の解析 ☆田中若奈1・鳥羽大陽1・大森良弘1・河合新1・吉田明希子2・平野博之1(1. 東大院理生物科学2. 東大院農学生命科学) 604 イネ穂の枝分かれを制御する <i>TAW1</i> 遺伝子の解析 ☆吉田明希子1・安野奈緒子1・笹尾真史1・北口善教1・佐藤豊2・長村吉見2・高木恭子3・飯田滋3・前川雅彦4・経塚淳子1(1. 東大院農学生命2. 農業生物資源研究所3. 基生研4. 岡山大資生研)	◆座長 森直樹 (神戸大) 701 Assessment of morphological variation and protein content in Indonesian leafy amaranths; in comparison with worldwide <i>Amaranthus</i> spp. collection. ☆R. Andini・吉田滋樹・大澤良(筑波大生命環境) 702 バイオマス原料として有望新規エネルギー作物エリアンサスの国内における遺伝資源探索 ☆上床修弘・山下浩・高井智之・我両満(農研機構・九州農研) 703 日本におけるイネ品種群の遺伝的多様性. II. 農業形質をもとにした日本イネ品種群の分類 ☆田中(川崎)顕子1,2・福田善通1(1. 国際農研2. 鳥取大連合農) 704 日本産タケ連植物の遺伝育種学的研究. XXX. 育成雑種の外部形態形質の様相、および自然雑種の分布に関連する考察 ○村松幹夫(岡山大学名誉教授)	9:00 9:15 9:30 9:45
◆座長 石川亮 (神戸大) 505 遺伝子組換えによる黄化葉巻病強度抵抗性トマト系統の開発(1)組換えトマト系統の高温条件における抵抗性 ○斎藤新・山口博隆・大山暁男・齊藤猛雄・松永啓(農研機構野菜茶研) 506 <i>Brassica oleracea</i> の萎黄病抵抗性に対するQTL解析 Z. Pu1,2・☆清水元樹1・張艶菊1,2・長岡朝彦1・松本哲3・堀秀隆1・岡崎桂一1(1. 新潟大院自然科学2. 中国東北農業大学3. 農研機構野菜茶研) 507 オオムギ種子の耐水性の地理的分布 ☆最相大輔・石井誠・佐藤和広・武田和義(岡大植物研) 508 シロイヌナズナのMAMP応答におけるAGB1-MPK3/6相互作用に関する解析 ☆津釜大侑・高野哲夫(東大アジアセンター)	◆座長 中野年継 (食総研) 605 イネ科植物のメリステムの性質を制御するMADS-box 遺伝子 ☆小林薫1・安野奈緒子1・佐藤豊2・北郷悠1・長村吉見2・木水真由美3・吉田均4・経塚淳子1(1. 東京大学農学生命科学研究科2. 農業生物資源研究所3. 中央農業総合研究センター北陸研究センター4. 作物研究所) 606 イネ花序形成におけるメリステム分化運命決定遺伝子ネットワークの解析 ☆安野奈緒子1・佐藤豊2・長村吉見2・経塚淳子1(1. 東大 農学生命科学2. 農業生物資源研究所) 607 ストリゴラクトン経路で働くD14とD14likeの機能とタンパク質の挙動 ☆亀岡啓1・有手友2・天保美咲3・秋山康紀3・花田篤志4・山口信次郎4・経塚淳子1(1. 東大農学生命科学2. 石川県立工業試験場3. 大阪府大農学環境科学4. 理研・PSC) 608 イネの分けつ伸長を制御するメカニズムの解析 ☆駱案1・経塚淳子1(1. 東大農学生命科学2. 東大農学生命科学)	◆座長 笹沼恒男 (山形大) 705 ゴマ, <i>Sesamum indicum</i>, とその近縁野生種, <i>S. mulayanum</i>, における種子休眠性およびその遺伝様式 ○塚坂英次1・梅田絵衣子1・山本将之2・増田恭次郎2・山田恭司2・吉田元信1(1. 近畿大学農学部2. 富山大学大学院理学研究科) 706 Rediscovery of the relict cultivation of the ancient Indus crop, Indian dwarf wheat, in southwestern India ○森直樹1・大田正次2・千葉一3・V. Shinde4・M. Kajale4・長田俊樹5(1. 神戸大院農2. 福井県大生物資源3. 東北学院大4. Decan Col. Post-Grad & Res. Inst.5. 総合地球環境学研究所) 707 野生四倍性コムギにおける種子休眠性の小穂内二型性—トルコ南東部の自然集団における発芽調査 ○大田正次1・森直樹2・H. Ozkan3(1. 福井県大生物資源2. 神戸大院農学3. トルコ・チュクロバ大農) 708 倍数性コムギのミトコンドリアゲノムに見られる構造変異とその分布 ☆辻村真衣1・森直樹2・寺地徹1(1. 京都産大総合生命科学2. 神戸大院農学)	10:00 10:15 10:30 10:45

1日目(3月29日)午前 口頭発表プログラム				
3月29日	第1会場(第1講堂)	第2会場(本校舎301)	第3会場(本校舎302)	第4会場(本校舎303)
11:00	◆座長 佐山貴司(北農研) 109 次世代シーケンサーを用いた北東北農林生産物のゲノム解析 ☆夏目俊1・吉田健太郎1・小杉俊一1・三岡周子1・植村亜衣子1・阿部陽2・中出啓子1・坂本裕一1・中島将博1・竹田匠1・寺内良平1(1.財団法人岩手生物工学研究センター2.岩手県農業研究センター)	◆座長 齊藤美香(東北農研) 209 イネ玄米の背白粒と基白粒発現に関するQTL解析 坪根正雄1・園田純也2・○和田卓也1・井上敬1(1.福岡県農業総合試験場2.鹿児島県農業開発総合センター)	◆座長 岩田洋佳(京大) 309 国内産小麦の製粉性評価に関する研究.9.高製粉特性の選抜評価手法の開発と系統育成 ○中村洋(農研機構作物研究所)	◆座長 宮尾安藝雄(生物研) 409 イネDFR遺伝子の過剰発現による呈色性 ○大槻寛・矢頭治(農研機構 中央農研北陸研究センター)
11:15	110 次世代シーケンサーを用いたイネ全ゲノム変異解析 ☆小杉俊一1・たみるむるねい1・吉田健太郎1・夏目俊1・阿部陽2・三岡周子1・植村亜衣子1・寺内良平1(1.財団法人岩手生物工学センター2.岩手県農業研究センター)	210 イネ胚乳におけるprotein disulfide isomerase like 2-3(PDIL2-3)に関する変異体のTILLING法を用いた選抜 ☆井上佳美1・吉川尚樹1・小川雅広2・熊丸敏博1(1.九州大院農2.山口県大共通教育機構)	310 雄性不稔(CMS)形質を利用したイネの年6回の戻し交配 ☆大西孝幸1・山川博幹2・鳥山欽哉3・木下哲1(1.奈良先バイオサイエンス2.作物研稲収量性研究北陸サブチーム3.東北大学応用生命科学)	410 コムギ貯蔵タンパク質を蓄積する形質転換イネ種子の解析 ☆斉藤雄飛1・大江翔太郎2・萬代悠太1・尾崎真治1・森田重人1.3・佐藤茂1.3・黒田昌治4・川浦香奈子5・萩原保成5・奥西智哉6・増村威宏1.3(1.京府大院生命環境2.京府大農3.京都農技生資4.農研機構中央農研北陸5.横浜市大木原生研6.農研機構食総研)
11:30	111 QTLseq: BC ₂ F ₂ /バルクシーケンスによる迅速なQTL単離 ☆阿部陽1・吉田健太郎2・小杉俊一2・夏目俊2・M. Tamiru2・高木宏樹2・落合祐介2・菅原浩視1・佐々木力1・寺内良平2(1.岩手県農業研究センター2.岩手生物工学研究センター)	211 遺伝子型と環境2元配置変量モデルにおける多量欠測データの解析 ○大森宏1・池田奈美子2(1.東大農学生命科学2.野菜茶業研究所)	311 野生種がもつ変異を育種に利用するための多重派生系統(MDL)の提案 ○辻本壽(鳥取大農)	411 イネbHLH遺伝子の内外頭における異所的発現による粒長と粒重の増大 ☆D. Heang・佐々英徳(千葉大園)
11:45	112 栽培イネ <i>Oryza sativa</i> と野生イネ <i>Oryza meridionalis</i> 間のゲノム網羅的DNA変異解析 ☆吉田健太郎1・小杉俊一1・夏目俊1・阿部陽2・三岡周子1・植村亜衣子1・宇津志博恵1・寺内良平1(1.財団法人岩手生物工学研究センター2.岩手県農業研究センター)	212 ダダチャマメ系品種の子実の特異的なタンパク質・酵素のプロテオーム解析 ○阿部利徳・藤野真美・小西吾吾・笹沼恒男(山形大学農学)	312 育種家の選抜運営ポリシーの違いによる最適選抜方法の違い ○石井卓朗1・矢野健太郎2・米澤勝衛3(1.近中四農研2.明治大農バイオインフォ3.京都産大工)	412 イネAK-HSDH 遺伝子に変異を挿入した形質転換イネカルスでの遊離スレオニン蓄積 ☆朴惠卿・水野亮子・吉田文・大武美樹・大島正弘・小松晃(独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所)
12:00				

2日目(3月30日)午後 口頭発表プログラム				
3月30日	第1会場(第1講堂)	第2会場(本校舎301)	第3会場(本校舎302)	第4会場(本校舎303)
13:00	◆座長 山崎将紀(神戸大) 113 動的なゲノム進化:全ゲノムシーケンスにより明らかにされた、イネ近縁品種間の大規模なゲノム構造変異 ☆門田有希1.2.3・Y. Yuan2・内藤健4・奥本裕1・S. Wessler2(1.京大院農学2.カリフォルニア大学 リバーサイド校3.日本学術振興会4.農業生物資源研)	◆座長 那須田周平(京大) 213 トマトとのシンテニーを利用したナス単為結果性遺伝子座乗位置の詳細化 ○宮武宏治・根来里美・山口博隆・布目司・大山曉男・福岡浩之(農研機構野菜茶研)	◆座長 小林聡(北見農試) 313 暖地向きで良質な紫黒糯の水稻新品種「さよむらさき」の育成 ○片岡知守1・坂井真1・田村克徳1・田村泰章1・岡本正弘1・八木忠之1・平林秀介2・梶亮太3・清淵律子4・山下浩1・深浦壮一5・西村実4(1.農研機構九冲農研2.農研機構作物研3.生物研4.農研機構東北農研5.熊本県)	◆座長 土井一行(名古屋大) 413 より汎用性を高めた新規花粉緩緩和米の開発 ☆若佐雄也1・高木英典1・笠原さおり2・高岩文雄1(1.生物研2.日本製紙)
13:15	114 イネソマクロナールバリエーションの全ゲノム塩基配列解析. IV. 点変異の変異スペクトラム ○宮尾安藝雄1・中込マリコ1・大沼貴子1・山形晴美2・金森裕之2・伊川浩司2・高橋章1・松本隆1・廣近洋彦1(1.農業生物資源研究所2.農林水産先端技術研究所)	214 トウガラシ(<i>Capsicum annuum</i> L.)における細胞質雄性不稔関連遺伝子及びその構造解析 ○王世隆1・申英燮2・趙成日1.3・山田哲也3(1.東京農工大国際環境農学専攻2.東京大農学生命科学農学国際専攻3.東京農工大農)	314 北海道向き極良食味・多収水稻新品種「ゆきさやか」の育成 ○黒木慎1・清水博之1・横上晴都1・松葉修一1・安東都男2・荒木均3・三浦清之4(1.農研機構北海道農研2.農水省3.元北海道農試4.農研機構中央農研北陸)	414 カロテノイド酸化開裂酵素遺伝子の発現制御によるゴールドendizの作出 ☆早瀬健彦1・三沢典彦2・金澤章1・金丸京平1・阿部純1・喜多村啓介1・山田哲也1(1.北大院農2.石川県立大3.農研機構・作物研)
13:30	115 育種は水稻のゲノム構造をどう変えたかーSNPハプロタイプが明らかにする90年の歴史ー ○米丸淳一1・山本敏夫1・江花薫子1・長崎英樹1.2・柴谷多恵子1・矢野昌裕1(1.生物研2.遺伝研)	215 マイクロアレイ技術を用いたサトウキビ糖生産性関連形質のQTL解析 ○榎宏征1・西村哲1・木村達郎1・都築祥子1・服部太一朗2・石川葉子2・境垣内岳雄2・寺島義文2・寺内方克2(1.トヨタ自動車(株)FP部 バイオラボ2.九州沖縄農業研究センター バイオマス資源作物開発チーム)	315 耐倒伏性が強い稲発酵粗飼料・飼料米兼用極多収水稻品種「たちじょうぶ」の育成 ○清水博之1・横上晴都1・松葉修一1・黒木慎1・安東都男2(1.農研機構北海道農研2.農水省)	415 種子貯蔵タンパク質欠失変異ダイズを用いたアルツハイマー病エビトプ形質転換体の解析 ☆長谷川久和1・高木恭子2.3・西澤けい1.3.4・石本政男2.3・丸山伸之5・内海成5・寺川輝彦1(1.北興化学開発研2.生物研3.北農研4.作物研5.京大院農)
13:45	116 イネ第7染色体にファインマッピングした地表根QTLは根の伸長角度に関与する ○宇賀優作1・半澤栄子2・永井新生2・佐々木和浩2・矢野昌裕1・佐藤雅志2(1.生物研2.東北大院生命)	216 「はくさい中間母本農6号」の晩抽性は <i>BrFLC1</i> , <i>BrFLC5</i> および <i>BrFTa1</i> により決定される ☆柿崎智博1・加藤文幸1.2・吹野伸子1・石田正彦1・畠山勝徳1・松元哲1(1.農研機構・野菜茶研2.三重大院・生物資源)	316 北海道向き多収・極良食味の低アミロース米水稻新品種「ゆきがすみ」の育成 ○横上晴都1・清水博之1・松葉修一1・黒木慎1・安東都男2・荒木均3・三浦清之4・今野一男3(1.農研機構北海道農研2.農水省3.元北海道農試4.農研機構中央農研北陸)	416 形質転換能力が高いイネ品種を利用した分子育種技術の開発 ☆雑賀啓明1・野中聡子1.2・刑部敬史1・土岐精一1.3(1.生物研2.筑波大院生命環境3.横浜市大木原生研)

1日目（3月29日）午前 口頭発表プログラム

第5会場（本校舎304）	第6会場（本校舎306）	第7会場（本校舎307）	3月29日
◆座長 最相大輔（岡山大）	◆座長 経塚淳子（東京大）	◆座長 福永健二（県立広島大）	
509 テンサイの子葉は低温順化の過程でマルトースを蓄積する ○松平洋明・吉田みどり・佐藤裕(農研機構・北海道農研)	609 イネのvegetative phase changeに関わる変異体の解析 ☆田中伸裕1,5・伊藤博紀2・千徳直樹3・榊原均4・井澤毅2・伊藤純一・長戸康郎1(1. 東京大学農学生命科学研究科2. 農業生物資源研究所3. 農業環境技術研究所4. 理化学研究所5. 日本学術振興会特別研究員(DC1))	709 AFLP分析によるマレーシア半島地域におけるニッパヤシ(<i>Nypa fruticans</i> Wurmb.)の遺伝的多様性の評価 ☆辻耕治1,2・Z. Ariffin3・M. Ghazali3・M. Khaidizar3・M. Nordin3・M. Dulloo4・L. Sebastian1(1. Bioversity International APO2. 国際共同研究人材育成推進・支援事業3. MARDI4. Bioversity International HQ)	11:00
510 ダイズの青立ちに寄与するQTL ○山田哲也1・島田信二2・羽鹿牧太1・山田直弘1・平田香里1・高橋浩司3・黄太暎5・佐山貴司4・鈴木彩子5・石本政男4(1. 作物研究所2. 中央農業総合研究センター3. 長野県野菜花き試4. 生物資源研究所5. 北海道農業研究センター)	610 リボソームタンパク遺伝子がイネの初期生育に及ぼす影響 ☆細木渉・伊藤純一・長戸康郎(東大農学生命科学)	710 東アジアのベニバナの遺伝的多様性及び山形県在来品種「最上紅花」の遺伝的特徴 ○世沼恒男・木村薫・阿部利徳(山形大農)	11:15
511 イネ塩素イオンチャンネルOsCLC4とOsCLC8を発現させた酵母とシロイヌナズナにおける耐塩性の向上 ☆李学佳1・津釜大侑1・柳参奎2・高野哲夫1(1. 東京大学アジアセンター2. 中国東北林業大学)	611 葉化順不稔(<i>hsh=OsMADS1</i>)との2重変異体がシュート状小穂を示す3種のイネ小穂変異体 ○高年禮逸朗・塩飽宏輔・千葉あや乃・大島健人・長野宏則(北大院農)	711 ダツタンソバの農業形質に関する統計遺伝学的解析(2) 分離世代を用いた遺伝解析 ☆李春花・小林喜和・大澤良(筑波大学大学院生命環境科学)	11:30
512 Identification of genes expressed in maize root cortical cells during lysigenous aerenchyma formation. ☆I. Rajhil1・山内卓樹1・高橋宏和1・西内俊策2・塩野克宏1・渡邊亮介1・M. Ahmed3・長村吉晃4・堤伸浩1・西澤直子1,5・中國幹生1,2(1. 東大農学生命科学2. 名大院生命農学3. Biotechnology Center, Borj Cedia Science and Technology Park4. 農業生物資源研究所ゲノムリソースセンター5. 石川県立大生物資源工学研究所)	612 オオムギ7H染色体上の短芒遺伝子short awn 2 (ks2)の分子マッピング ○武田真1・湯尾崇央1・櫻井幸恵2・三宅頌子2・一井眞比古3(1. 岡山大学植物研2. 香川大学農学部3. 香川大学)	712 切花用クルクマの育種 ○山口聡(玉川大学農学部)	11:45
513 マイクロアレイ解析を用いたイネの根の通気組織形成メカニズムの解明 ☆山内卓樹1・塩野克宏1・安彦友美1・I. Rajhil1・長村吉晃2・堤伸浩1・中國幹生1,3(1. 東大農学生命科学2. 農業生物資源研究所ゲノムリソースセンター3. 名大院生命農学)			12:00

2日目（3月30日）午後 口頭発表プログラム

第5会場（本校舎304）	第6会場（本校舎306）	第7会場（本校舎307）	3月30日
◆座長 久保貴彦（遺伝研）	◆座長 伊藤純一（東京大）		
514 CMSを示すナス細胞質置換系統における新規orfの発現解析 ☆吉見麻衣子1・齊藤猛雄2・一色司郎3・寺地徹1・山岸博1(1. 京産大総合生命科学2. 農研機構野菜茶研3. 佐賀大農)	613 イネ出穂関連遺伝子Hd2の単離と機能解析 ☆小木曾映里・中川仁・山内歌子・井澤毅・矢野昌裕(農業生物資源研究所)		13:00
515 ナスにおける花粉稔性回復遺伝子のDNAマーカー ○山岸博1・牟田部天平1・田中俊光1・吉見麻衣子1・一色司郎2・齊藤猛雄3(1. 京産大総合生命科学部2. 佐賀大農3. 農研機構野菜茶研)	614 イネHd2遺伝子の長日条件下の出穂遅延にはHd16およびGhd7との相互作用が関与する ☆柴谷多恵子1・野々上慈徳2・小野望2・山内歌子1・堀清純1・矢野昌裕1(1. 生物研2. 農林水産先端研)		13:15
516 シロイヌナズナとキャベツの細胞融合により雑種化した雄性不稔ミトコンドリアゲノムの解析 ☆安本 景太・津田瑞江・児島慶子・山岸博(京都産大工学研究科)	615 トマト果実の離脱及びイネ脱粒に関わる離層形成制御の普遍性 ☆中野年継1・藤澤雅樹1・前田英郎2・伊藤康博1(1. 農研機構食総研2. 農研機構作物研)		13:30
517 オグラ型雄性不稔に対する黒ダイコンの稔性回復遺伝子の解析 ☆森悠太1・安本景太1・張麗2・山岸博1(1. 京産大工2. 国家蔬菜工程技術研究中心)	616 トマトMADS-box型転写因子RINが直接発現を制御する果実成熟関連遺伝子群の同定 ☆藤澤雅樹・中野年継・伊藤康博(農研機構 食総研)		13:45

2日目(3月30日)午後 口頭発表プログラム				
3月30日	第1会場(第1講堂)	第2会場(本校舎301)	第3会場(本校舎302)	第4会場(本校舎303)
14:00	◆座長 吉田健太郎(岩手生工研) 117 遺伝子重複によるオオムギ六条性遺伝子の進化過程 ☆佐久間俊1,2・M. Pourkheirandish2・金森裕之3・T. Wicker4・松本隆2・佐々英徳1・木庭卓人1・小松田隆夫2(1. 千葉大院園芸2. 生物研3. STAFF研4. チューリッヒ大学)	◆座長 榎宏征(トヨタ自動車) 217 二倍体コムギ連鎖地図へのSSR座位のマッピングはオオムギゲノム情報のコムギへの利用を可能にする 渡邊将太1・富川咲良1・増田真帆1・☆新田みゆき1・佐藤和広2・那須田周平1(1. 京大院農学2. 岡大資植研)	◆座長 黒木慎(北農研) 317 「コシヒカリ」を遺伝背景とした赤米新品種「富山赤78号」の育成と早先色に関する遺伝分析 ☆山口琢也1・前田寛明1・森川真紀子1,2・伊山幸秀1・表野元保1,3・蛭谷武志1(1. 富山県農林水産総合技術センター2. 高岡農林振興センター3. 富山県農産食品課)	◆座長 山田哲也(作物研) 417 ニホンカボチャ(<i>Cucurbita moschata</i> Duch)における針状結晶ウイスカを利用したアグロバクテリウム感染効率の向上と形質転換系の確立 ☆七里吉彦1・小長谷賢一1,2・奥崎文子1・津田麻衣1・田部井豊1(1. 生物研2. 森林総研森林バイオ研究センター)
14:15	118 低重複度オオムギ全ゲノムショットガン解析とその活用 ○佐藤和広・元井由加・山地奈美(岡大植物研)	218 コムギに導入された <i>Aegilops speltoides</i> 由来の配偶子致死染色体Gc1a, Gc1bのGISHとSSRマーカーによる構造解析 新田みゆき1・渡邊将太1・辻本壽2・○那須田周平1(1. 京大院農学2. 鳥取大農学)	318 「コシヒカリ」を遺伝背景とした食味の良い黒米新品種「富山黒75号」の育成 ☆前田寛明1・山口琢也1・寶田研1,2・表野元保1,3・木谷吉則1・小島洋一朗1,4・向野尚幸1,3・森川真紀子1,5・尾崎秀宣1・村田和優1・伊山幸秀1・蛭谷武志1(1. 富山県農林水産総合技術センター2. 富山県新川農林振興センター3. 富山県農産食品課4. 富山県農業技術課5. 富山県高岡農林振興センター)	418 低フィテン酸イネ突然変異系統の生育特性の評価、収量および玄米中の無機成分含有量 ○矢頭治・青木秀之(農研機構・中央農業総合研究センター北陸研究センター)
14:30	119 国産ダイズ品種エンレイの次世代シーケンサーによるゲノム解析 ○片寄裕一1・金森裕之2・栗田加奈子2・柴田未知恵2・南博2・伊藤和江2・竹下紗由美3・大柳一3・下村道彦3・加賀秋人1・松本隆1・佐々木卓治1(1. 独立行政法人農業生物資源研究所 基礎研究領域2. STAFF研究所 研究第一部3. 三菱スペース・ソフトウェア株式会社 つくば事業部)	219 コムギの種子色に関連する <i>Tamyb10-A1</i> 遺伝子内で見られたコムギ新規トランスポゾン <i>GeST (Genome Surfing Trader)</i> について ☆永見英子・前川雅彦(岡山大学植物研)	319 日本めん用小麦育種におけるF ₁ 個体種子の品質評価と選抜への利用 ☆小林聡1・神野裕信1・佐藤三佳子1・西村努2・池永充伸2・樋浦里志3・吉村康弘1(1. 道総研北見農業試験場2. 道総研中央農業試験場3. 北海道オホーツク振興局)	419 siRNA産生個体の接ぎ木パートナーにおけるTGS発動 ○白松齡・葛西厚史・山田かおり・原田竹雄(弘前大農学生命科学)
14:45	120 ダイズの高 α -トコフェロール含有性に関わる候補遺伝子のプロモーター領域における変異性とその特徴づけ ☆M. Dwiyanti・山田 哲也・阿部純・喜多村啓介(北大農)	220 イネ雑種弱勢遺伝子 <i>HWA1</i> , <i>HWA2</i> の連鎖分析 ☆一谷勝之1・田浦悟2・手塚孝弘3・沖山友哉4・久保山勉4(1. 鹿児島大農2. 鹿児島大遺伝子実験施設3. 大阪府大院生命環境4. 茨大農)	320 そうか病に強い暖地二期作向けバレイショ新品種「さんじゅう丸」の育成 ☆向島信洋1・森一幸1・坂本悠1・田宮誠司2・草原典夫3・中尾敬1(1. 長崎県農林技術開発センター2. (独)北海道農業研究センター3. 長崎県島原振興局)	420 フローサイトメトリーによるシイタケ変異株の単離 ☆金城裕介・小林幸志朗・種坂英次・吉田元信(近大農学)
15:00	◆座長 磯部祥子(かずさDNA研) 121 イネグルテン前駆体を多量に蓄積する <i>glup2</i> 変異遺伝子の連鎖地図の構築 ☆村上孝裕1・野口亮介1・小川雅広2・熊丸敏博1(1. 九州大院農2. 山口県大共通教育機構)	◆座長 一谷勝之(鹿児島大) 221 イネゲノムのアノテーション情報がない領域から塩ストレスで発現誘導されるRNAの網羅的同定と機能予測 ☆水野浩志1・川原善浩2・坂井寛章2・脇本泰輔2・金森裕之3・大野陽子1・山本麻裕3・呉健忠1・伊川浩司3・伊藤剛2・松本隆1(1. 農業生物資源研究所植物ゲノムユニット2. 農業生物資源研究所ゲノム情報ユニット3. 農林水産先端技術研究所)	◆座長 森野和子(中央農研) 321 画像処理を用いたイネ葉形質のQTL解析 ☆杉田(小西)左江子1・永野憐2・松垣匠3・朽名夏恵3(1. 香川大・院・農2. 生物研3. 東大・院・新領域)	◆座長 矢頭治(中央農研) 421 イネDNAトランスポゾン <i>nDart1</i> の挿入領域の特徴と利用 ○根根一夫1・高木恭子1・根根美佳1,2・前川雅彦3・飯田滋1,2(1. 基礎生物学研究所2. 静岡県立大 大学院生活健康科学研究科3. 岡山大学 資源植物科学研究所)
15:15	122 日本水稲品種群における感光性遺伝子 <i>Hd1</i> と到穂日数のアソシエーション解析 ☆吉岡拓磨1・出田収2・山内歌子3・柴谷多恵子3・森本恵梨子1・吉田晋弥4・江花薫子3・山崎将紀1(1. 神戸大院農附属食資源教育研究センター2. 近畿中国四国農業研究センター3. 農業生物資源研究所4. 兵庫農林水産技術総合センター)	222 隣接したトランスジーン間の相互作用によるRNAサイレンシングの誘導機構 ☆河西めぐみ1・種田晃人2・金澤章3(1. 北大農2. 弘前大院理工3. 北大農)	322 <i>DROOPING LEAF</i> 遺伝子を用いた草型改変イネの収量性解析 ☆鳥羽太陽・大森良弘・平野博之(東大院・理・生物科学)	422 リンドウに導入したT-DNA領域全長の <i>de novo</i> DNAメチル化解析 ☆山崎謙知1・小田雅行1・小泉望1・箕作和彦1・津関正史2・中塚貴司3・西原昌宏3・三柴啓一郎1(1. 大阪府大院生命環境2. 千葉大院園芸3. (財)岩手生工研セ)
15:30	123 栽培イネ <i>Oryza sativa</i> Nipponbareを野生イネ <i>O. rufipogon</i> W630で戻し交雑した自殖系統群を用いた植物と種子の形態形質に関するQTL解析 ☆山本知佳・岩崎友哉・石川亮・石井尊生(神戸大院農学)	223 エピジェネティックな変化を誘導することで遺伝子組換えによらずに形質を変化させた植物体の作出 ○金澤章・稲場純一・志村華子・太田垣駿吾・塚原小百合・松澤章彦・金南民・後藤一法・増田税(北大農)	323 共発現ネットワーク解析によるイネの細胞壁構築に関わる因子の網羅的解析 ☆平野恒1・安益公一郎1・近藤満理1・永松志郎1・奥野綾子1・佐藤豊2・Antonio B.A.2・並木信和2・宮尾安藝雄2・長村吉晃2・松岡信1(1. 名古屋大・生物センター2. 農業生物資源研究所・ゲノムリソースセンター)	423 ガンマ線照射によるソルガムbm突然変異系統の特性と遺伝様式 ○中川仁1,3・奥泉久人2・西村実3(1. 農業・食品産業技術総合研究機構 バイオマス研究センター2. 農業生物資源研究所3. ジーンバンク3. 農業生物資源研究所 放射線育種場)
15:45	124 野生イネ (<i>Oryza rufipogon</i>)の種子有芒性の評価および遺伝子マッピング ☆大塚光晴・石川亮・石井尊生(神戸大院農学)	224 組み換え近交系統を用いたQTL解析の検出力 ☆宅野 将平1・寺内良平2・印南秀樹3(1. University of California, Irvine2. 岩手生物工学研究センター3. 総合研究大学院大学)	324 リグニン生成酵素Cinnamyl alcohol dehydrogenase (CAD) 欠損がイネの植物体強度と稲ワラの酵素糖化性に及ぼす影響 ☆森中洋一1・西村明日香1・平野恒2・保浦保浦2・R. Ordono2・北野英己2・松岡信2(1. (株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン2. 名大生物機能開発利用研究センター)	424 植物の突然変異誘発における材料の生理状態の影響 ○岡村正愛1・古澤佳也2・長谷純宏3(1. キリンホールディングス・フロンティア技術研2. 放射線医学研・粒子線生物研究G3. 原子力機構・量子ビーム応用研究部門)

2日目（3月30日）午後 口頭発表プログラム

第5会場（本校舎304）	第6会場（本校舎306）	第7会場（本校舎307）	3月30日
◆座長 牛島幸一郎（岡山大） 518 イネPollen killerを制御するエピスタシスの解析 ☆久保貴彦1.2・倉田のり1,2(1. 遺伝研2. 総研大生命科学) 519 イネ減数分裂における交叉型組換え干渉はシナプトナマ複合体タンパク質ZYP1により制御される ☆米田典央1,2・野々村賢一1,2(1. 総研大生命科学2. 遺伝実験農場) 520 花粉形成過程におけるタベート細胞の挙動と細胞壁 ☆松尾優一1・中島将貴1・藤本優2・高梨秀樹1・有村慎一1・堤伸浩1(1. 東大農学生命科学2. 東大理学) 521 イネ培養細胞におけるフィチン酸合成に関する研究 ☆松野幸也・藤井壮一郎・藤村達人(筑波大院生命環境科学)	◆座長 西田英隆（岡山大） 617 イネ早生突然変異系統の超長日条件における出穂遅延の多様性 ○齊藤大樹・横尾敬行・徐銓・吉竹良洋・浅野翔・泉はるか・K. Mostafa・山川真梨恵・奥本裕(京都大学大学院農学研究科) 618 6倍性コムギにおける花成関連遺伝子のゲノム間相互作用 藤原佑紀1・宅見薫雄2・〇村井耕二1(1. 福井県大生物資源2. 神戸大院農) 619 細胞質置換コムギ系統にみられる花成遅延は花成関連遺伝子の発現パターンの変化による ☆加藤啓介・嶋田早苗・村井耕二(福井県大生物資源) ◆座長 宅見薫雄（神戸大） 620 コムギ系統“超極早生”がもつ劣性早生遺伝子の連鎖SSRマーカー 川上耕平1・新田みゆき2・西田英隆1・藤田雅也3・那須田周平2・明石由香利1・〇加藤鎌司1(1. 岡山大院自然2. 京大院農学3. 農研機構・九冲農研) 621 日長反応性遺伝子の配列多型を利用したオオムギ出穂特性の解析 ○西田英隆1・塔野岡卓司2,3・土屋昌宏1・青木恵美子2・吉岡藤治2・明石由香利1・加藤鎌司1(1. 岡山大院自然2. 農研機構・作物研3. 農水省農林水産技術会議事務局) 622 HiCEP法を用いた<i>Hordeum bulbosum</i>の球茎形成候補遺伝子の探索 ☆古川真人・小松憲治・佐潟エリカ・浅間尚海・坂智広(横浜市大木原生研)		14:00 14:15 14:30 14:45 15:00 15:15 15:30 15:45
◆座長 清水顕史（滋賀県立大） 522 圃場条件下における<i>Brassica juncea</i> × <i>B. napus</i>の距離と交雑率の関係 ☆津田麻衣1・小長谷賢一2・奥崎文子1・七里吉彦1・田部井豊1(1. 生物研2. 森林総研森林バイオ研究センター) 523 Dot-blot分析による<i>Brassica</i>属Sハプロタイプ同定法の改良と利用 ○北柴大泰・及川恵里子・西尾剛(東北大学大学院農学) 524 テンサイOwen型細胞質雄性不稔に対して新規穏性回復遺伝子が分離する集団の作出▲☆田口和憲1・森谷麻里2・樋山肇2・本間雄二郎2・久保友彦2・三上哲夫2(1. 北海道農業研究センター2. 北大農学研究院) 525 次世代シーケンサーを用いたダイコンのミトコンドリアゲノムの配列解析 1.ナタネミトコンドリアゲノムとの比較 ☆田中義行1・津田瑞江2・安本景太1・山岸博1・寺地徹1(1. 京都産大総合生命科学2. 京都産大工学研究科)			

2 日 目（3月30日）午後 口頭発表およびグループ研究集会プログラム				
3月30日	第 1 会場（第 I 講堂）	第 2 会場（本校舎 301）	第 3 会場（本校舎 302）	第 4 会場（本校舎 303）
16:00			325 リグニン生成に関与するスイッチグラス Ferulate 5-Hydroxylase(F5H)遺伝子の単離および解析 ☆久野裕1,2・C. Fu1・Z. Wang1,2(1. サミュエル・ロバーツ・ノーブル財団研究所(米国)2. バイオエナジーサイエンスセンター)	
16:15		グループ研究集会 1 (16:15～18:15) 育種学と農学のこれからを考える21 若手の会主催・研究集会 世話人：山内 卓樹（東大） 内藤 健（生物研） 角井 宏行（名大） 話題提供： 「深根性遺伝子から見てきた根型育種の可能性」 宇賀 優作（生物研） 「根型育種はどう進めれば成功するのか」 犬飼 義明（名大）		グループ研究集会 2 (16:15～18:15) 米の食味育種と遺伝解析 世話人：竹内善信（作物研究所） 和田卓也（福岡農総試） 話題提供： 「北海道米のアミロペクチン分子構造の解析と新規食味評価法」 五十嵐俊成（上川農業試験場）

日本育種学会 優秀発表賞 投票方法の改正に関連した注意点

1. エントリー制を採用します。

演題登録時に優秀発表賞の選考対象演題としてエントリーした演題を審査の対象とします。

2. 発表者マークの変更

プログラムや要旨において優秀発表賞の選考対象としてエントリーした演題の発表者印は☆で表記されています。ポスターやスライド作成時に発表者印を表記する際にも統一した記号を使ってくださいますようお願いいたします。

ポスター発表プログラム (3月30日)

奇数番号 9:00-10:30 偶数番号 10:30-12:00 (総合体育館)

1. 品種育成・育種法

- P001 水稻高度耐冷性中間母本の育成
○永野邦明¹・千葉文弥²・佐々木都彦³・遠藤貴司¹・我妻謙介²・早坂浩志¹・佐伯研一¹・酒井球絵¹(¹. 宮城古川農試². 宮城県庁³. 宮城本吉農改セ)
- P002 オオムギ縞萎縮病抵抗性を持つ麦用大麦品種「カシマゴール」の育成
○青木恵美子¹・塔野岡卓司^{1,2}・吉岡藤治¹・河田尚之^{1,3}・吉田めぐみ^{1,3}・松井勝弘^{1,3}・谷尾昌彦^{1,4}・牧野徳彦¹(¹. 農研機構・作物研². 農林水産省・農林水産技術会議事務局³. 農研機構・九州沖縄農研⁴. 農研機構・中央農研)
- P003 ジアスターゼカの高いビール大麦系統「大系HQ10」の開発
☆大関美香¹・五月女敏範¹・春山直人¹・長嶺敬²・石川直幸²・加藤常夫¹・小田俊介³・谷口義則⁴・高山敏之¹(¹. 栃木農試栃木分場². 農研機構近中四農研³. 農研機構作物研⁴. 農研機構東北農研)
- P004 高β-グルカン含有大麦系統の簡易迅速選抜手法
○一ノ瀬靖則・金子成延・小前幸三((独)農研機構・作物研究所)
- P005 連鎖不平衡が低い他殖性作物におけるゲノミックセレクションの有効性評価
☆矢部志央理¹・大澤良²・岩田洋佳¹(¹. 東大農学生命科学². 筑波大院生命環境)
- P006 新潟県における多用途米品種の収量に関する遺伝子型×環境交互作用解析
☆神戸崇・松井崇晃・名畑越夫・奈良悦子・石崎和彦(新潟農総研・作物研)
- P007 新規閉花受粉性突然変異体の選抜と特性解析
○大森伸之介¹・吉田均²・矢頭治¹(¹. 中央農研北陸研究センター². 作物研)

2. 育種情報・データベース

- P008 トマトcDNAデータベース: TOMATOMICs
川村慎吾¹・濱田和輝¹・鈴木絢子¹・山本直樹¹・柴田大輔²・青木考²・☆矢野健太郎¹(¹. 明治大・農・バイオインフォマ². かずさDNA研)
- P009 次世代高速シーケンサーを用いた近縁野生イネ *O. rufipogon* のゲノム比較解析
○永田俊文¹・大柳一²・長崎英樹³・望月孝子³・神沼英里³・中村保一³・会津智幸⁴・豊田敦⁴・藤山秋佐夫⁴・倉田のり¹(¹. 遺伝研系統生物植物遺伝². 三菱スペース・ソフトウェア³. 遺伝研生命情報DBJ研究センター大量遺伝情報⁴. 遺伝研生物遺伝資源情報総合センター比較ゲノム解析)
- P010 イネにおける機能及び応用ゲノミクス研究のための統合データベースシステム
○アントニオバルタザール¹・佐藤豊¹・並木信和²・釜付香²・伊川浩司²・大柳一²・竹久妃奈子¹・米丸淳一¹・長村 吉晃¹(¹. 生物研². 三菱スペース・ソフトウェア(株))
- P011 Phenome analysis of rice seedlings detected hidden characteristics in responses to environmental signals
S. Chechetka・○土生芳樹(生物研植物科学)
- P012 OryzaExpress:イネの遺伝子発現ネットワークとオミックス情報統合データベース
☆濱田和輝¹・本郷耕平¹・諏訪部圭太²・清水顕史³・長山大志¹・阿部伶奈¹・菊地俊介¹・山本直樹¹・藤井貴朗¹・横山幸治¹・土田博子¹・佐野和美¹・望月孝子⁴・大木信彦⁵・堀内陽子⁴・藤田雅文⁴・渡辺正夫⁶・松岡信⁷・倉田のり⁴・矢野健太郎¹(¹. 明治大農・バイオインフォマ². 三重大生物資源³. 滋賀県大環境科学⁴. 遺伝研植物遺伝⁵. 九州農研⁶. 東北大院生命科学⁷. 名大生物機能開発利用研究センター)

3. 遺伝資源・系統分化

- P013 講演取り消し
- P014 材質・雄花着花特性を考慮したスギ・コアコレクション
☆宮本尚子・高橋誠・渡辺敦史(森林総合研究所林木育種センター)
- P015 四倍体ピラミダーレコムギの開花特性およびその制御遺伝子
○森山竜二¹・加賀田恒¹・若原浩義¹・内藤美加¹・桂圭祐¹・齊藤大樹¹・加藤鎌司²・西田英隆²・河原太八¹・札埜高志¹・北島宣¹・中崎鉄也¹(¹. 京大院農². 岡山大院自然)
- P016 ネコブセンチュウ抵抗性エンバクの探索とその育種素材化
○森川利信¹・桂真昭²・立石靖²(¹. 大阪府大生命環境科学². 九州沖縄農研)
- P017 バンレイシ属(チェリモヤ, アテモヤ) 遺伝資源の多様性
○山中慎介¹・井上裕嗣²・米本仁巳³・緒方達志¹(¹. 国際農研 熱帯・島嶼². 沖縄県北部農林水産振興セ³. 神内南方系果樹研究所)
- P018 中国雲南地域における標高の異なるイネ栽培圃場から採取したいもち病菌レースの分化
○李進斌¹・李成雲²・Q. Zhang¹・Lei Cai¹・lin3¹・J. Yang²・Zhu You-yong²・福田善通⁴(¹. 農業環境資源研². 雲南農業大³. 作物研⁴. 国際農研)
- P019 4倍性コムギにおける日長反応性遺伝子の変異と地域分布
☆竹中祥太郎・河原太八(京大院農学)
- P020 rDNAのPCR-RFLPに基づくアワ在来品種の地理的変異の解析
泉谷鮎美¹・一谷勝之²・河瀬眞琴³・○福永健二¹(¹. 県立広島大学生命環境学部². 鹿児島大学農学部³. 農業生物資源ジーンバンク)
- P021 食用アスパラガスを中心とした *Asparagus* 属植物の系統関係と種間の交雑親和性
久保田涉誠・今野格・○菅野明(東北大院生命科学)
- P022 オーストラリアにおける自生野生イネ集団の分子マーカーによる集団構造解析
☆小林雄一¹・石川隆二¹・一谷勝之²・田中克典³・中村郁郎⁴・佐藤洋一郎³・佐藤雅志⁵(¹. 弘前大農学生命科学². 鹿児島大農³. 総合地球環境学研⁴. 千葉大院園芸農学⁵. 東北大院生命科学)

- P023 エゾオヤマリンドウの遺伝子多様性と北日本での地理的分布
○千葉さくら1・日影孝志2・土井寿子2・久米浩平2・斎藤靖史1,2・山村三郎3・高畑義人2・堤賢一1,2(1. 岩手大・農・寒冷バイオ2. 岩手大・院・連合農学3. (株)生物工学総合研究所)
- P024 琵琶湖沿岸部のヨシ集団の遺伝的多様性
☆横田知典1・荒木哲朗1・前田純2・清水顕史1,2・長谷川博1,2(1. 滋賀県大院環境科学2. 滋賀県大環境科学)
- P025 ダイズ在来系統ダダチャマメの系統解析
☆小西省吾・笹沼恒男・阿部利徳(山形大農)
- P026 サクラソウ(*Primula sieboldii*)園芸品種における花弁色素の多様化
☆橋本奈々1・岩科司2・大澤良1(1. 筑波大院生命環境2. 国立科博植物)
- P027 レタスと近縁野生種エゾムラサキニガナ、ミヤマアキノゲシ、ムラサキニガナとの交雑性
○松元哲1・川頭洋一1,2・富士山龍伊1(1. 農研機構 野菜茶業研究所2. 農林水産省 農林水産技術会議事務局)
- P028 一粒系コムギの現代化に関する研究(2)
○渡部信義(茨城大農)
- P029 サツマイモ品種「アヤマラサキ」のアントシアニン生合成突然変異体における*lbMYB1*遺伝子構造の解析
○田中勝・高畑康浩・倉田理恵・中山博貴・吉永優(農研機構九冲農研)
- P030 植物ミトコンドリアゲノムのミニサテライト様構造を用いた多型解析
☆本間雄二朗1・寺地徹2・鳥山欽哉3・久保友彦1・三上哲夫1(1. 北大院・農2. 京産大総合生命科学3. 東北大院・農)
- P031 種特異的SNPマーカーによる*Brassica rapa*一染色体添加ダイコン系統の添加染色体の同定
☆殿崎薫1・西尾剛1・赤羽美智子2・房相佑3・金子幸雄3(1. 東北大院農学2. 岩手大農3. 宇都宮大農)
- P032 緑色の花をつけるサクラ品種「ウコン」、「ギョイコウ」、「シンニシキ」の花の特徴
○尾山恵利子1・植松千代美1・大原隆明2(1. 大阪市立大学大学院理学研究科2. 富山県中央植物園)

4. 変異創成

- P033 イネ温度感受性葉緑素合成不全突然変異体の解析
☆森田竜平1・中川繭2・林依子1・竹久妃奈子1,3・東海林英夫1・佐藤雅志4・阿部知子1(1. 理研仁科センター2. 名古屋大院・情報科学3. 生物研4. 東北大院・生命科学)
- P034 重イオンビーム照射によって誘発したイネ耐塩性突然変異系統の特性比較
○林依子1・森田竜平1・森島友美2・永野拓馬2・半澤栄子3・東海林英夫1・小暮祥子1・保倉明子2・佐藤雅志3・阿部知子1(1. 理研仁科センター2. 東京電機大学3. 東北大院生命科学)
- P035 アボミクス遺伝子単離に向けたイオンビームの利用
○高原学1・蝦名真澄1・飯村敬二1・森田竜平2・風間裕介2・阿部知子2・高溝正1・中川仁3(1. 農研機構・畜産草地研2. 理研・仁科センター3. 農研機構本部)
- P036 重イオンビーム照射で得た無性花変異体を用いた植物Y染色体雄性決定領域の解析
☆風間 裕介1・石井公太郎2・藤田尚子2・青沼航2・清水祐史2・河野重行2・阿部知子1(1. 理研仁科センター2. 東大新領域)
- P037 *Diplotaxis tenuifolia* 細胞質を持つキャベツ類の作出と諸特性
○沈受玄・房相佑・金子幸雄(宇都宮大学農学部)
- P038 二粒系コムギとタルホコムギの雑種における2タイプの雑種致死の類似性
☆水野信之・松田龍典・秦野仁志・宅見薫雄(神戸大農学)
- P039 *HWC1*と*HWC2*によって生じるイネ雑種弱勢のマイクロアレイとGOによる遺伝子発現解析
○久保山勉1・一谷勝之2・沖山友哉1・濱田和輝3・本郷耕平3・矢野健太郎3・藤田雅文4・倉田のり4・渡部信義1(1. 茨大農2. 鹿児島大農3. 明治大農バ イオインフォマ4. 遺伝研)
- P040 タバコ属種間雑種(*Nicotiana suaveolens* x *N. tabacum*)の細胞における雑種致死過程のプログラム細胞死にはオートファジーが関与する
☆宮川直人1・山田哲也1・金勝一樹1・丸橋亘2(1. 農工大農2. 明治大農)
- P041 *Solanum melongena*と*S. sanitwongseii*種間雑種の効率的な作出
☆北村雄1・濱登尚徳1,2・岩本 嗣3・高橋能彦3(1. 新潟大院自然科学2. 新潟農総研園研3. 新潟大農)
- P042 *Zygopetalum* Redvaleと*Cymbidium*の属間交雑において出現する単為発生様個体出現頻度の花粉親依存的な差異
☆塩田浩喜1・伊藤峻也2・中島克3・三位正洋4・遊川知久5・市橋正一2・加藤淳太郎2(1. 愛知教育大学院理科教2. 愛知教育大学生物3. 東海市農業センター4. 千葉大院園芸5. 国立科博植物)
- P043 *HWC1*および*HWC2*の相互作用で生じるイネ雑種弱勢における病害抵抗性関連遺伝子の発現およびファイトアレキシンの蓄積
☆沖山友哉1・一谷勝之2・長谷川守文1・渡部信義1・久保山勉1(1. 茨城大学農学部2. 鹿児島大学農学部)
- P044 セイヨウナタネ×カラシナの逆正交雑から得たBC₂植物における4種類のBゲノム染色体の伝達
☆高嶋美穂・房相佑・金子幸雄(宇都宮大農)
- P045 パンパスグラス(*Cortaderia selloanastapf.*)における培養系およびアグロバクテリウム法による形質転換系の確立
☆下前和紀1・魯 元學2・陳東波1・三位正洋1(1. 千葉大学大学院園芸学研究科2. 中国科学院昆明植物研究所昆明植物園)
- P046 未熟胚を用いたイネ形質転換法の利点
○石崎琢磨1,2・福谷朱代1,2(1. 国際農研生物資源領域2. 国際農研熱帯・島嶼研究拠点)
- P047 膜貫通型LRRプロテインキナーゼ遺伝子のホモログ*In29*はアサガオの花弁老化時のプログラム細胞死に関与する
☆李マイ1・山田哲也1・清水圭一2・渋谷健市3・市村一雄3・金勝一樹1(1. 農工大院農2. 鹿児島大農3. 農研機構花き研)
- P048 遺伝子サイレンシング法によって完全不稔化された日本シバ系統(品種:みやこ)の特性評価
○猪熊千恵1,2・趙徹2・田村典子2・屋村亮1(1. 大成建設株式会社2. 株式会社ジェイツー)

- P049 アブラナ科植物由来新規チオニン遺伝子導入ジャガイモの作出
☆星川健・石原豪・k. kong・三位正洋・中村郁郎(千葉大学園芸学研究科)
- P050 キュウリモザイクウイルス(CMV)のサイレンシング抑制遺伝子の導入によるダイズ種皮色の变化
☆高木恭子1,2・西澤けいと2・廣瀬亜矢2・倉内佑3・千田峰生3・増田税4・石本政男1,2(1. 生物研2. 北農研3. 弘前大農学生命科学4. 北大院農)
- P051 栄養繁殖系サツマイモへのASG-1遺伝子導入系の確立について
○陳蘭荘1,2・西村佳子2・杜召生3・濱口卓郎4・杉田亘5(1. 南九州大学環境園芸2. 南九州大学大学院園芸学・食品研究科3. 中国河南省農業科学院4. 宮崎県庁5. 宮崎県総合農業試験場)
- P052 イテゴCHSプロモーターは、花托にて高い転写活性を有する
○古田和義・加賀谷羽衣子・田林紀子(ホクサン株式会社)
- P053 Expression of Synthetic Chitinase or Wasabi defensin gene regulated by root-specific promoter confer resistance to *Fusarium oxysporum* in transgenic tobacco.
☆KONG KYNET・V. NTUI・真壁壮・星川健・高橋弘子・R. KHAN・三位正洋・中村郁郎(千葉大学園芸学研究科)
- P054 学校教育における遺伝子組換え農作物の情報提供とその効果について
○笹川由紀・石川達夫・田部井豊(生物研遺伝子組換え研究推進室)
- P055 遺伝子組換え農作物の参加型コミュニケーション手法とその効果について
○田部井豊・笹川由紀・土門英司・石川達夫(生物研)
- P056 肥後菊における培養系の確立およびソマクローナルバリエーションの検出
○松田靖・高宮陽司・森岡祐希・村田達郎(東海大学農学部)

5. 抵抗性・耐性

- P057 アフリカ産いもち病菌菌系を用いた、陸稲ネリカおよび圃場抵抗性遺伝子保有品種の評価
O. Theophile1・○福田善通2・野田孝人2・柳原誠司2・田中-川崎顕子2,3・Y. Sere1(1. アフリカライセンセンター2. 国際農研3. 鳥取大学連合大学院)
- P058 6B染色体上のQTLがコムギ系統「西海165号」の赤かび病抵抗性に及ぼす影響について
○久保堅司1・藤田雅也1・河田尚之1・小田俊介2・八田浩一1・松中仁1・牛山智彦3・前島秀和3・中村和弘4・中島隆5(1. 農研機構・九州沖縄農研2. 農研機構・作物研3. 長野県農試4. 農研機構・東北農研5. 食品安全委員会事務局)
- P059 コムギの穎色遺伝子Rg1近傍に見出された赤かび病抵抗性QTLの効果
☆西尾善太1・尾上ちひろ1,2・早田暁世1・伊藤美環子1・田引正1・長澤幸一1・山内宏昭1・三浦秀穂2(1. 北海道農研2. 帯広畜産大学)
- P060 フィリピン産イネいもち病菌菌系を用いた飼料イネおよび圃場抵抗性遺伝子保有品種の評価
○古賀郁美1・田中(川崎)顕子1,2・福田善通1(1. (独)国際農林水産業研究センター2. 鳥取大連合農)
- P061 TaWRKY45 plays a role in FHB resistance in transgenic wheat plants
☆B. Insaf1・杉澤幹起3・菊地理絵2,3・小川泰一2・川東広幸2・坂智広3・半田裕一1,2(1. 筑波大学生命環境科学2. 生物研3. 横浜市大木原生研)
- P062 イネいもち病抵抗性遺伝子Piaの単離・同定
○神崎洋之1・奥山雄大2・阿部陽3・吉田健太郎1・松村英生4・斎藤宏昌1・伊東明子1・曾根輝雄5・寺内良平1(1. (財)岩手生物工学研究センター2. 国立科学博物館・植物3. 岩手県農業研究センター4. 信州大人間環境科学5. 北大大学院農)
- P063 ダイズのハスモンヨトウ選好性QTLのマッピング
☆大木信彦1・小松邦彦2・佐山貴司3・高橋将一1・高橋幹1・石本政男3(1. 九州沖縄農研2. 北海道農研3. 生物研)
- P064 水稻穂ばらみ期耐冷性遺伝子集積F₄系統の冷水掛け流し検定圃場における耐冷性評価
○松葉修一・黒木慎・横上晴郁・清水博之・斎藤浩二(農研機構・北海道農研)
- P065 機能的なWDREB2スプライシング産物の蓄積に影響を与えるパンコムギ染色体の同定
倉橋夢人・M. Iehisa・☆宅見薫雄(神戸大農学)
- P066 高温ストレスに対するイネ代謝物質の変動および品種間差異(第2報)
○佐野智義1・及川彰2,3・早坂剛1・後藤元1・森静香4・藤井弘志4(1. 山形農総研セ水田農試2. 理研植物科学研究センター3. 慶應大先端研4. 山形大農学部)
- P067 Subtractive hybridization法によるヤトロファの乾燥応答性遺伝子の同定
☆吉田雄磨1・勝又友希2・多田雄一2(1. 東京工科大院・バイオ情報メディア2. 東京工科大・応用生物)
- P068 ノンコーディングRNAによる温度反応性遺伝子発現制御機構の解析
☆関葉月・久米浩平・堤賢一・斎藤靖史(岩手大学農学部附属寒冷バイオフロンティア研究センター)
- P069 乾燥ストレス耐性コムギ系統の水分ストレス条件下における根系の発達と吸水力との関係
☆森正彦1・稲垣正典2(1. 農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所2. 国際乾燥地研究センター)
- P070 コムギガラクトノール合成酵素遺伝子を導入したイネの穂ばらみ期耐冷性
○下坂悦生1・村山誠治1・増田ゆかり1・小沢憲二郎2・佐藤裕1(1. 農研機構北海道農研2. 農業生物資源研)
- P071 温湯消毒時に水稻品種「ひとめぼれ」の種子が示す高温ストレス耐性の生化学的解析
☆三田村芳樹・濱田晃次・佐野直人・山田哲也・金勝一樹(農工大農)
- P072 イネのABCタンパク質Gサブファミリーの発現解析
☆松田修一・小森のぞみ1・古川薫1・船引厚志1・建部えり子1・得字圭彦1・高牟礼逸朗2・加藤清明1(1. 帯畜大2. 北大院農学研究院)
- P073 イネのABCトランスポーター*Rcn1*の発現解析
☆古川薫1・松田修一・小森のぞみ1・得字圭彦1・高牟礼逸朗2・加藤清明1(1. 帯畜産大学2. 北海道大学大学院農学研究院)
- P074 シロイヌナゼナのGタンパク質シグナル伝達経路における新たなプロテインホスファターゼ(AtPP2C52)の機能解析
☆劉華1・津釜大侑1・柳 参奎2・高野哲夫1(1. 東京大学アジアセンター2. 中国東北林業大学)

- P075 野生ダイズの種皮の難吸水性QTLが導入された戻し交雑近交系統の作出
○阿部純1・佐藤雅子1・張聖珍1・関功介2・高橋良二3(1. 北大院農2. 長野県野菜花き試験場3. 作物研究所)
- P076 ダイズのカルシウム輸送体GmCAXsの解析
☆鈴木雅也・李学佳・津釜大侑・高野哲夫(東京大学 アジアセンター)
- P077 大腸菌によって引き起こされる植物細胞の生育抑制の解析及び原因遺伝子のゲノム網羅的スクリーニング
☆白木英介1・香山弘明1・山本静香1・守口和基1・倉田のり2・鈴木克周1(1. 広大理学生物科学2. 遺伝研植物遺伝)
- P078 稲品種Ta Hung Kuの土中出芽性QTLに関する準同質遺伝子系統の作出とその評価
○前田英郎1・太田久穂2・常松浩史1・加藤浩1・春原嘉弘1(1. 農研機構 作物研究所2. 農研機構 東北農業研究センター)

6. 品質成分

P079 講演取り消し

- P080 炊飯米の白さの評価と品種間差異
☆後藤元1・浅野日謙之2・森谷真紀子3・中場勝1・佐野智義1・阿部洋平1・鈴木啓太郎4・結城和博1(1. 山形農総研セ水田農試2. 山形農総研セ3. 山形県村山総合支庁4. 食総研)
- P081 サトイモ品種「土垂」の塊茎における節数と粘度の相関関係
○齋藤裕太郎・五十鈴川寛司(山形農研セ園試)
- P082 コムギにおけるGlu-A1, Glu-D1対立遺伝子及びタンパク質含有率がポリマータンパク質の量と分子量分布に及ぼす影響
☆谷中美貴子・高田兼則・石川直幸(近畿中国四国農業研究センター)
- P083 イネ第2染色体に座乗するアミロース含有率を低下させるqAC-2の特性
○竹本陽子1・竹内 善信1・鈴木啓太郎2・平林 秀介1・安東 郁男1,3・根本博1(1. 作物研2. 食品総合研3. 農林水産省農林水産技術会議事務局)
- P084 収穫方法および生葉の処理が茶新品種「サンルージュ」のアントシアニン含量に及ぼす影響
○根角厚司1・山本(前田)万里1・瀧岡勲2・齋藤猛2・荻野暁子1(1. 農研機構野菜茶業研究所2. アサヒビール株式会社食の基盤技術研究所)
- P085 セイヨウナタネ種子登熟過程における脂肪酸合成関連遺伝子の発現解析
☆赤羽美智子・山田(秋山)仁美・ケネディ(赤坂)庸子・横井修司・高畑義人(岩手大学農学部)
- P086 「きたほなみ」から高製粉性を導入した暖地向け小麦系統の胚乳細胞壁は薄い
○藤田雅也1・池田達哉2・八田浩一1・松中仁1・久保堅司1(1. 農研機構九州沖縄農研2. 農研機構近中四農研)
- P087 水稻品種および環境条件が胴割れ発生に及ぼす影響
○林猛・富田桂・田野井真・小林麻子(福井県農業試験場)
- P088 オオムギのプロアントシアニンフリー準同質遺伝子系統における加熱調理後褐変の差異
○塔野岡卓司1,2・青木恵美子1・吉岡藤治1(1. 農研機構作物研究所2. 農水省技術会議事務局)
- P089 小麦の *Glu-B3* 遺伝子座の対立遺伝子による生地物性への影響の差異
○伊藤美環子1・船附稚子1・池田達哉2・田引正1・西尾善太1・長澤幸一1・山内宏昭1(1. 農研機構北海道農研セ2. 農研機構近中四農研セ)
- P090 大麦全粒粉を配合したパンの製造過程における水溶性 β -グルカンの分子量変化
○小前幸三1・原田昌博2・一ノ瀬靖則1・金子成延1・塔野岡卓司3・青木恵美子1・吉岡藤治1(1. 農研機構作物研2. 日本パン技術研3. 農水省農林水産技術会議事務局)
- P091 コムギのリジン生合成遺伝子 *DHDPS* 導入イネの作出
☆平林卓也1・小林誠2・土屋有美子2・草野都2,3・高橋秀樹2,3・村中俊哉1,4・一色正之1(1. 横浜市立大学 木原生物学研究所2. 理研 植物科学センター3. 横浜市立大学 生命ナノシステム科学研究科4. 大阪大学 工学研究科)
- P092 トマト果実における ADP-glucose pyrophosphorylase 遺伝子 *AgpL1* の発現は糖シグナル伝達経路の制御を受ける
尹永根・☆松倉千昭・讀岐温子・小岩央幸・福田直也・江面浩(筑波大院生命環境科学)

7. 収量・バイオマス

- P093 イネ葉緑体の熱放散制御の分子遺伝学的解析
☆笠島一郎1・江花薫子2・山本敏央2・高原健太郎3・矢野昌裕2・川合真紀4・内宮博文1,5(1. 埼玉大環境科学研究センター2. 農業生物資源研究所 QTLゲノム育種研究センター3. 東大分生研4. 埼玉大院理工5. 岩手生物工学研究センター)
- P094 イネ疎粒突然変異系統M645とNM510の乾物生産
○田淵宏朗((独)農研機構中央農研北陸研究センター)
- P095 蒸切干加工用サツマイモ品種における栽植密度反応
○藏之内利和・高田明子・藤田敏郎・中村善行・熊谷亨(農研機構作物研)
- P096 イネ種子収量および品質に関与する *FLO2* 遺伝子の品種間差異の解析
☆佐々木忠将1,2・シャクタカシ1,2・八重島充弘1・草野博彰1・大沼万里子1・河本健正1・佐藤光3・島田浩章1,2(1. 東京理大生物工2. 東京理大総研機構3. 九大農)
- P097 多収イネ系統を用いた植物体構造の特徴解析
○保浦徳昇1・安藤孝紀2・池田真由子1・中野利哉1・土井一行2・北野英己1(1. 名大生物機能開発利用研究センター2. 名大院生命農学)

8. 発生

- P098 *OsMADS6* へのトランスポゾン挿入変異による新たなイネ穎花変異体
☆齋藤生・石川隆二(弘前大学農学生命科学部)
- P099 野生オオムギ *Hordeum bulbosum* L. の球茎構造と形成過程の解明
☆浅間尚海・古川真人・佐湯エリカ・坂智広(横浜市大木原生研)

- P100 国内コムギ品種における不感光性遺伝子*Ppd-A1a*の分布と出穂期への効果
○関昌子1,2・蝶野真喜子1・西村努3,4・佐藤三佳子3・吉村康弘3・加藤鎌司2・小島久代1・松中仁5・藤田雅也5・小田俊介1・久保堅司5・乙部千雅子1
(1. 農研機構・作物研2. 岡山大院自然3. 道総研・北見農試4. 道総研・中央農試5. 農研機構・九沖農研)
- P101 タルホコムギの春化関連遺伝子VIN3ホモログの単離と発現解析
☆香山佳代子・宅見薫雄(神戸大農学)
- P102 ハクサイ*FLC2*の第1イントロンへの断片挿入が抽だい時期を変化させる
☆北本尚子1・由比進2・高畑義人1・横井修司1(1. 岩手大学農学部2. 東北農研)
- P103 フイトクロムによる*Hd1*を介したフロリゲン遺伝子*Hd3a*の転写制御と日長認識機構
○石川亮1,4・青木麻由美1・黒谷賢一1,5・横井修司1,6・篠村知子2,7・高野誠3・島本功1(1. 奈良先端大 バイオサイエンス研究科2. (株)日立製作所3. 農業生物資源研究所4. 神戸大 農学研究科5. 名古屋大 生物機能開発利用研究センター 6. 岩手大 農学部7. 帝京大 理工学部)
- P104 ダイコンにおける開花制御遺伝子*FLC*の発現と種子成熟、発芽との関連性
☆石井亜希穂・川上小百合・央戸理恵子・野村和成(日本大生物資源)
- P105 イネ*AP2*様遺伝子*OsIDS1*の機能解析
☆石黒郁美・富澤貴寿・荻原保成・一色正之(横浜市立大学 木原生物学研究所)
- P106 オオムギMIPファミリーの解析
☆宇都木繁子・柴坂三根夫・且原真木・前川雅彦(岡大植物研)

9. 増殖・生殖

- P107 花粉一粒からのPCRによるニホンナシの遺伝子解析: 花粉側自家和合性突然変異系統415-1が生産するSハプロタイプヘテロ型花粉の検出
☆間瀬誠子1・澤村豊1・山本俊哉1・高田教臣1・西尾聡悟1・齋藤寿広1・池谷祐幸1(1. 農研機構果樹研2. 農研機構本部)
- P108 ベニバナアマにおける異形花型自家不和合性の解析 IV: 雌ずいの長さの制御に対するMYB転写制御因子の影響
○牛島幸一郎1・久米紗緒里2・難波祐子1・久保康隆1・中野龍平1(1. 岡山大院自然科学2. 岡山大農)
- P109 雄花発達過程に沿ったスギ雄性不稔化候補遺伝子の発現解析
☆坪村美代子・栗田学・渡辺敦史(森林総合研究所林木育種センター)
- P110 テンサイ花粉稔性回復遺伝子*Rf1/rf1*における遺伝子コピー間の機能
☆松永 宗幸・松平洋明・北崎一義・久保友彦・三上哲夫(北大院・農)
- P111 テンサイOwen型CMSにおける突発的稔性回復機構の分子遺伝学的解析
☆樋山肇1・大神遼1・森谷麻理1・田口和憲2・久保友彦1・三上哲夫1(1. 北大院・農2. 北海道農業研究センター)
- P112 ナタネの稔性回復個体における*orf125*サブリモンの遺伝
○渡邊みずき・今村順(玉川大農)
- P113 イネ胚乳初期シンシチウムにおけるF-box遺伝子の発現・機能解析
☆藤原奈津美・水谷征法・劉泓鏢・堤賢一・斎藤靖史(岩手大学農学部付属寒冷バイオフロンティア研究センター)

10. ゲノム解析・DNAマーカー

- P114 GISH法および画像解析法を用いたフェストロリウムにおける異種ゲノム評価
秋山征夫1・久保田明人1・山田-秋山仁美2・○上山泰史1(1. 農研機構・東北農研2. 岩手大学)
- P115 カーネーションの萎凋細菌病抵抗性育種に関する研究(第16報)抵抗性主働遺伝子座の染色体置換程度
☆八木雅史・小野崎隆(農研機構花き研)
- P116 SNPアレイを用いた多収イネ品種「ミズホチカラ」の系譜ハプロタイプマップの作成の試み
○溝淵律子・山本敏央・米丸淳一・江花薫子・矢野昌裕(生物研)
- P117 ニホンナシ'豊水'の葉緑体ゲノムの全塩基配列決定
松村有一郎1・寺上伸吾2・栗田加奈子3・金森裕之3・片寄裕一4・山本俊哉2・☆片山寛則1(1. 神戸大院農食資源セ2. 果樹研3. STAFF研4. 生物研)
- P118 次世代シーケンサによるサツマイモの活動型レトロトランスポゾン*Rtsp-1*ゲノム挿入部位の網羅的な配列決定
☆平島由記美・田原誠・田原谷薫(岡山大学自然科学研究科)
- P119 チャ品種「あさのか」の根内アミノ酸含量に関するQTL解析
☆谷口郁也・荻野暁子(農研機構野菜茶研)
- P120 ナタネ連鎖地図の精密化とそれに基づくミトコンドリアプラスミドの父性遺伝に関するQTL解析
☆大嶋雅夫1・半田裕一1,2(1. 筑波大学生命環境科学2. 生物研)
- P121 北海道大豆品種「トヨムスメ」の裂皮に関するQTL解析
☆山下陽子1・船附秀行2・大西志全1(1. 道総研 中央農試2. 農研機構 近農研)
- P122 ダイズの褐斑抵抗性に関する主要QTLの種子伝染抵抗性への効果
○猿田正恭1・高田吉丈1・岡部昭典1・佐山貴司2・笹間博子2・石本政男3(1. 近中四農研2. 北農研3. 生物研)
- P123 イネの穂長を制御するQ T L の検出
☆安藤考紀1・保浦徳昇2・池田真由子2・北野英己2・土井一行1(1. 名大院生命農学2. 名大生物機能開発利用研究センター)
- P124 サツマイモ品種「ハイスターチ」のサツマイモネコブセンチュウ抵抗性に関連するSCARマーカーの作出
☆中山博貴・田中勝・高畑康浩・松井勝弘・吉永優((独)農研機構 九州沖縄農業研究センター)
- P125 イチゴ「アスカウェイブ」における萎黄病耐病性に関する連鎖解析
☆飯村一成・中澤佳子・天谷正行(栃木県農業試験場)

- P126 6倍性コムギの穂首におけるワックス抑制遺伝子のマッピング
☆岡本裕樹・梶村友則・宅見薫雄(神戸大農学)
- P127 コシヒカリ大粒変異体のジャポニカイネ間交雑による原因遺伝子領域の特定
☆鳥山真衣1・瀬上修平1・加藤丈晴1・北野英己2・三浦孝太郎1・岩崎行玄1(1. 福井県立大学生物資源2. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター)
- P128 チャ品種‘そうふう’の香気特徴づけるアントラニル酸メチル含有を支配するMat遺伝子座とその利用
☆田中 淳一1,2・谷口郁也1・吉田克志1・荻野暁子1・萬屋宏1・根角厚司1(1. 農研機構野菜茶研(枕崎)2. 農研機構作物研)
- P129 イネ短粒変異体 *Srs5* の遺伝解析
☆瀬上修平1・加藤丈晴1・鳥山真衣1・安藤露2・河野いづみ2・矢野昌裕3・北野英己4・三浦孝太郎1・岩崎行玄1(1. 福井県立大学生物資源2. 農林水産先端研3. 農業生物資源研究所4. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター)
- P130 オオムギ縞萎縮病抵抗性遺伝子 *rym3* の選抜に有効なDNAマーカーの開発
○春山直人1・大関美香1・五月女敏範1・沖山毅1・渡邊浩久2・高山敏之1・山口昌宏1・長嶺敬3・河田尚之4(1. 栃木県農試2. 栃木上都賀農振3. 近中四農研セ4. 九沖農研セ)
- P131 白花リンドウの変異原因遺伝子の同定とDNAマーカーの開発
☆中塚貴司1・齋藤美沙1・牛久由夏1・山田恵理1・星伸枝2・中里崇2・藤原一道2・日影孝志3・西原昌宏1(1. 岩手生工研セ2. 岩手農研セ3. 八幡平市花き研セ)
- P132 DNAマーカー選抜による効率的なピンク花リンドウ集団の育成
☆齋藤美沙1・中塚貴司1・牛久由夏1・山田恵理1・星伸枝2・中里崇2・藤原一道2・日影孝志3・西原昌宏1(1. 岩手生工研セ2. 岩手農研セ 3. 八幡平花き研セ)
- P133 タグ配列による網羅的なゲノム多型の解析
○松村1英生1・阿部陽2・浦崎直也3・宮城徳道3・安藤裕教1・寺内良平4(1. 信大遺伝子2. 岩手県農研センター3. 沖縄県農研センター4. 岩手生工研)
- P134 マイクロアレイを用いたゲノムワイドマーカー技術の開発
○木村達郎1・榎宏征1・西村哲1・都築祥子1・服部太一朗2・石川葉子2・境垣内岳雄2・寺島義文2・寺内方克2(1. トヨタ自動車 FP部 バイオ・ラボ2. 九州沖縄農業研究センター バイオマス・資源作物開発チーム)
- P135 イチゴSSRマーカーの開発
○布目司1・本城正憲2・松元哲1・宮武宏治1・山口博隆1・大山暁男1・福岡浩之1(1. 農研機構野菜茶研2. 農研機構東北農研)
- P136 トマトゲノムの遺伝子領域に由来する一塩基多型の大規模同定技術の開発
○白澤健太1・平川英樹1・豊田敦2・磯部祥子1・田畑哲之1(1. かずさDNA研2. 遺伝研)
- P137 *Arabidopsis* 属の雑種強勢が見られる2つの人工複二倍体間でのゲノムワイドな転写の比較
☆川邊隆大1・佐々木卓2・デニスエリザベス3・藤本龍3(1. 株式会社 渡辺採種場2. Gregor Mendel Institute3. Plant Industry CSIRO)
- P138 mRNA-Seq法によるリン酸欠乏及びリン酸過剰ストレス応答にかかわるイネのトランスクリプトーム解析
○大野陽子1・川原善浩1・水野浩志1・金森裕之2・山形晴美2・山本麻由2・細川聡美2・伊川浩司2・朱作峰1・呉健忠1・伊藤剛1・松本隆1(1. 農業生物資源研究所2. STUFF研究所)
- P139 コムギ倍数化過程における遺伝子発現の網羅的解析
☆高橋宏瑛・川浦香奈子・岸井 正浩・神山智・荻原 保成(横浜市大 木原生研)
- P140 イネの網羅的遺伝子発現プロファイルから見出された生育ステージ特異的トランスクリプトーム
☆佐藤豊1・B. Antonio1・竹久妃奈子1・並木信和2・草場信3・長村吉晃1(1. 生物研2. 三菱スペース・ソフトウェア(株)3. 広島大院理)
- P141 オオムギ染色体導入コムギを用いたゴール形成昆虫の寄生決定に関わる遺伝子の探索
☆吉田圭祐1・川浦香奈子1・徳田誠2・神代瞬2・松倉啓一郎3・松村正哉3・荻原保成1(1. 横浜市大木原生研2. 九大3. 九州沖縄農研)
- P142 イネにおけるジスルフィドプロテオームによる病害抵抗性関連タンパク質の解析
○森野和子・木水真由美・矢頭治(農研機構・中央農研・北陸)
- P143 IRRI育成New Plant Type イネ品種由来の粒数増加に関するQTLの検出と評価
藤田大輔1・A. Tagle1・R. Gannaban1・小出陽平1,2・福田善通2・☆小林伸哉1,2(1. 国際稲研究所2. 国際農林水産業研究センター)
- P144 SuperSAGE法を用いたパパイア花芽で発現している性染色体上の遺伝子の探索
○浦崎直也1・太郎良和彦1・首藤垂耶乃1・玉城盛俊1・宮城徳道1・吉田健太郎2・安谷屋信一3・松村英生4(1. 沖縄農研セ2. 岩手生工研3. 琉大農4. 信大ヒト環境科学)
- P145 SSRマーカーによる小豆品種「能登大納言」の品種識別
○南出圭祐1,2・有手友嗣2・小林大樹2・濱田達朗1・西澤直子1・竹村美保1・大山莞爾1・小牧正子2(1. 石川県立大生物資源工学研究所2. 石川県農業総合研究セ)
- P146 イネWx^bのスプライシングに影響を与えるDu1の機能解析
☆祝延幸1・島本功2・村中俊哉1,3・一色正之1(1. 横浜市立大・木原生研2. 奈良先端大・植物分子遺伝学3. 大阪大・工学研究科)
- P147 *Brassica rapa* と *Raphanus sativus* における *GLABRA1* 対立遺伝子と葉毛の関係
☆李鋒・ゾウ中偉・北柴大泰・西尾剛(東北大学大学院農学研究科)

座長一覧

	第1会場 第1講堂	第2会場 本校舎301	第3会場 本校舎302	第4会場 本校舎303	第5会場 本校舎304	第6会場 本校舎306	第7会場 本校舎307
29日午前	101-104 佐藤豊 9:00-10:00	201-204 高田兼則 9:00-10:00	301-304 田口文緒 9:00-10:00	401-404 佐々英徳 9:00-10:00	501-504 杉田(小西) 左江子 9:00-10:00	601-604 齊藤大樹 9:00-10:00	701-704 森直樹 9:00-10:00
	105-108 武田真 10:00-11:00	205-208 氷見英子 10:00-11:00	305-308 矢野健太郎 10:00-11:00	405-408 雑賀啓明 10:00-11:00	505-508 石川亮 10:00-11:00	605-608 中野年継 10:00-11:00	705-708 笹沼恒男 10:00-11:00
	109-112 佐山貴司 11:00-12:00	209-212 齊藤美香 11:00-12:00	309-312 岩田洋佳 11:00-12:00	409-412 宮尾安藝雄 11:00-12:00	509-513 最相大輔 11:00-12:15	609-612 経塚淳子 11:00-12:00	709-712 福永健二 11:00-12:00
30日午後	113-116 山崎将紀 13:00-14:00	213-216 那須田周平 13:00-14:00	313-316 小林聡 13:00-14:00	413-416 土井一行 13:00-14:00	514-517 久保貴彦 13:00-14:00	613-616 伊藤純一 13:00-14:00	
	117-120 吉田健太郎 14:00-15:00	217-220 榎宏征 14:00-15:00	317-320 黒木慎 14:00-15:00	417-420 山田哲也 14:00-15:00	518-521 牛島幸一郎 14:00-15:00	617-619 西田英隆 14:00-14:45	
	121-124 磯部祥子 15:00-16:00	221-224 一谷勝之 15:00-16:00	321-325 森野和子 15:00-16:15	421-424 矢頭治 15:00-16:00	522-526 清水顕史 15:00-16:15	620-622 宅見薫雄 14:45-15:30	

日本育種学会 優秀発表賞 投票方法の改正に関連した注意点

1. エントリー制を採用します。

演題登録時に優秀発表賞の選考対象演題としてエントリーした演題を審査の対象とします。

2. 発表者マークの変更

プログラムや要旨において優秀発表賞の選考対象としてエントリーした演題の発表者印は☆で表記されています。ポスターやスライド作成時に発表者印を表記する際にも統一した記号を使ってくださいますようお願いいたします。

口頭発表講演方法

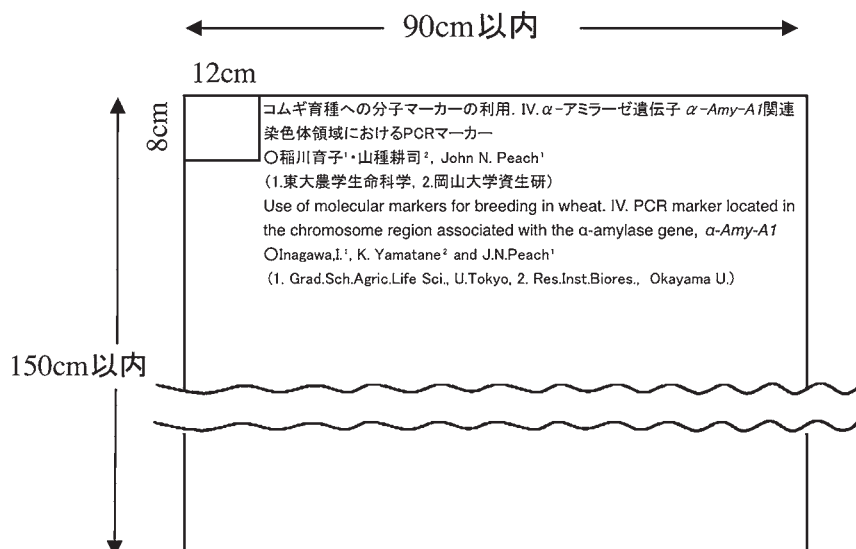
口頭発表の発表形式はプロジェクターによるプレゼンテーションのみです。発表にはご自分のパソコンをご使用ください。大会当日は試写室に試写用のプロジェクターをご用意いたします。発表者はあらかじめ余裕を持って試写を行い、スライドのレイアウトや動作をご確認いただくとともに、パソコンの画面出力先の設定（ミラーリング）方法を必ずご確認ください。

また、パソコンの不具合に備えて大会運営委員会では予備のパソコン（Windows XP または 7, Power Point）をご用意しますので、**データのバックアップを入れた USB メモリを必ずご準備ください。**

1. 使用するノートパソコンの「画面の解像度」を XGA（1024×768 ピクセル）に設定してからスライドのレイアウトを確認してください。これよりも大きい画面サイズやワイド画面のパソコンを使用すると、プロジェクターから正しく投影されないことがあります。
2. 画面出力端子の形状が D-sub15 ピン（ミニ）であることを確認してください。この形状と異なる場合、Mac をご使用になる場合は変換アダプタを準備してください。
3. スクリーンセーバー、省電力設定は解除し、起動音をミュート（消音）にしてください。
4. バッテリートラブルが生じないように電源タップを用意しますので、パソコンの電源コードを準備してください。
5. 次講演者席、次次講演者席に着席したら、電源コード、モニターケーブルを順に接続し、パソコンを起動してください。
6. 発表者の交替の際に、モニターケーブルの記号（A, B, C, D）に合わせて係員がモニター切替器を操作します。発表者の画面がプロジェクターから投影されない場合、発表者はミラーリングの変更を行ってください。なお、トラブルの時間も講演時間に含まれますのでご了承ください。
7. 動画はミラーリングによってプロジェクターから投影されないことがありますので、発表者は試写の際にミラーリング方法をご確認ください。
8. 試写室にはスタッフが常駐しています。パソコンの設定、予備のパソコンの貸し出しにつきましては試写室のスタッフにお申し付けください。

ポスター作成要領

1. ポスターは横 90cm×タテ 150cm に収まる大きさで作成してください。
2. ポスターの上部の左側にはポスター番号を貼付ける余白（横 12cm×タテ 8cm）を残してください。
3. ポスターの上部には、オンライン登録と同一の演題名、著者名、所属を 48 ポイント以上の文字サイズを使い、日本語、英語を併記してください。
4. 図表のタイトル、説明文は英語で表記してください。



その他、ご不明の点は大会運営委員会(ml-jbs119@yokohama-cu.ac.jp)にお問い合わせください。

幹事会場へのアクセス



- ・横浜市営地下鉄線ブルーライン「舞岡駅」下車
2番出口より徒歩10分

「舞岡駅」までの所要時間

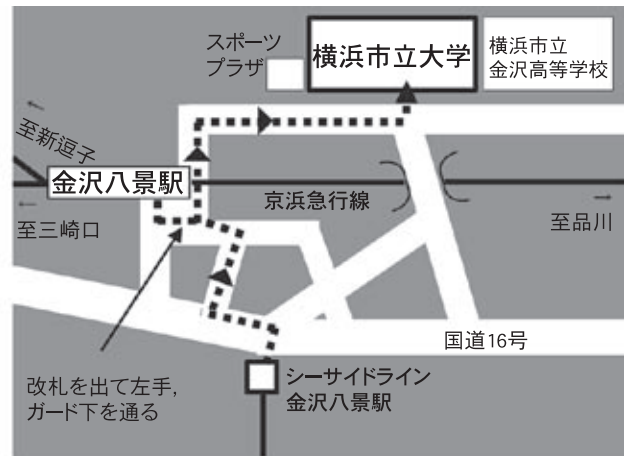
- ・「横浜駅」からJR東海道線で「戸塚駅」まで約10分,
「戸塚駅」から市営地下鉄線で「舞岡駅」まで約3分
- ・新幹線「新横浜駅」から市営地下鉄線で「舞岡駅」まで
約40分
- ・「羽田空港駅」より京浜急行線で「上大岡駅」まで
約40分, 「上大岡駅」から市営地下鉄線で
「舞岡駅」まで約10分

講演会場へのアクセス

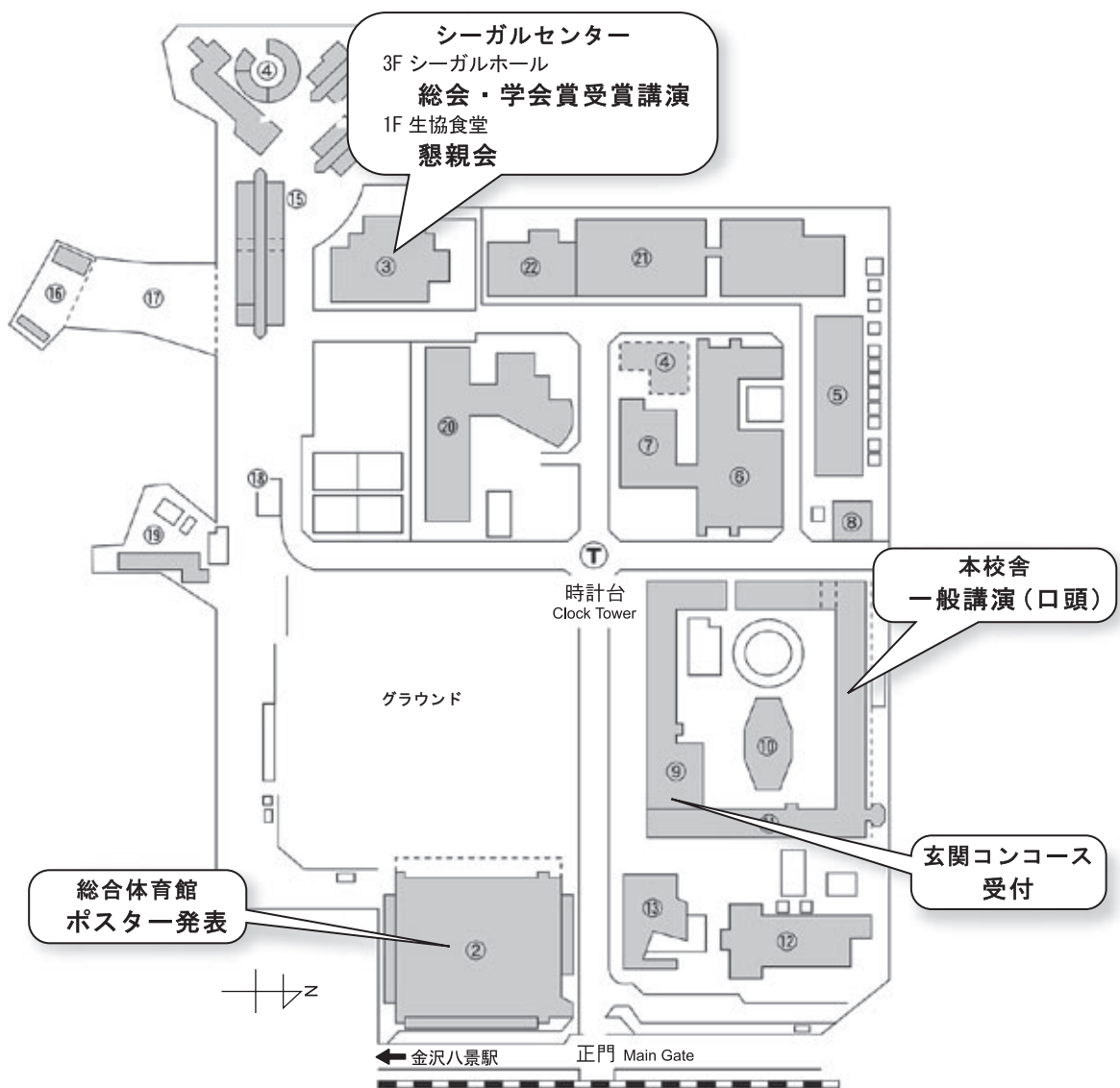
- ・ 京浜急行「金沢八景駅」下車 徒歩 5 分
- ・ シーサイドライン「金沢八景駅」下車 徒歩 7 分

京浜急行「金沢八景駅」までの所要時間

- ・ 「横浜駅」から京浜急行快特または特急で約 20 分
- ・ 「品川駅」から京浜急行快特または特急で約 45 分



講演会場案内図（横浜市立大学金沢八景キャンパス）



[illegible]

The floor plan of the 1st floor is as follows:

- Top Row:** 休憩室 (Restroom), 試写室 (Writing Room), 休憩室 (Restroom).
- Top Section:** 205 (50人教室), 206 (空), 207 (空), 208 (空), 209 (空), 210 (空), 211 (空), 212 (空), 213 (空), 214 (空).
- Left Section:** クローク (Cloakroom), 204 (60人教室), 203 (空), 202 (空), 201 (空).
- Center:** 大会本部 名誉会員控室 (Conference and Honorary Member Control Room).
- Right Section:** 215 (空), 216 (空), 217 (空), 218 (空), 219 (空), 220 (空), 221 (空), 222 (空), 223 (空), 224 (空), 225 (空), 226 (空).
- Bottom Section:** 副学長室 (Deputy Vice-Chancellor's Office), 第一会議室 (First Conference Room), 食堂 (Cafeteria), W.C., W.C., 学長室 (Vice-Chancellor's Office), 副理事長室 (Deputy President's Office), 理事長室 (President's Office), 経営企画課 (Business Planning Section), 総務課 (General Affairs Section), 庶務課 (Secretariat), 事務局長室 (Director's Office).

第1会場

300席
第1講堂

受付

大学院白習室

相談室

玄關ホール

玄關コンコース

教員組合

組合会議室

職員組合

大学院講義室Ⅰ

キャリア支援室

白習室Ⅰ

情報教育実習室C

102 50人教室

103

104

105

106

107

108

109

情報教育実習室A

小実習室

情報教育実習室B

学部長室

学務課

研究推進センター

証明書自動発行機

合庫

印刷室

WC

合庫

学務課

教務課

相談室

四角学術

講師控室

役員室

インフォメーション

学務・教務課
学習・教育担当